

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

琉 大 上 総 396 号
令和 4 年 10 月 5 日
開設者名 国立大学法人琉球大学
学長 西田 睦

琉球大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
氏名	国立大学法人琉球大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

琉球大学病院

3 所在の場所

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地
電話(098) 895 - 3331

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科	
5血管外科		6心臓血管外科		○ 7内分泌外科		8小児外科	
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
1小児歯科		2矯正歯科		○ 3歯科口腔外科			
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	神経科	2	呼吸器科	3	消化器科	4	循環器科	5	病理診断科
6	形成外科	7	リハビリテーション科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40	6	4	0	550	600

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	384	17	390.7
歯科医師	17	0	17
薬剤師	39	0	39
保健師	0	0	0
助産師	35	0	35
看護師	625	21	641.8
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	5	0	5
管理栄養士	9	0	9

職種	員数
看護補助者	65
理学療法士	19
作業療法士	8
視能訓練士	6
義肢装具士	0
臨床工学士	26
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	35

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	44
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	0	
その他の技術員	52	
事務職員	161	
その他の職員	244	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	35	眼科専門医	5
外科専門医	19	耳鼻咽喉科専門医	13
精神科専門医	8	放射線科専門医	11
小児科専門医	18	脳神経外科専門医	5
皮膚科専門医	10	整形外科専門医	23
泌尿器科専門医	6	麻酔科専門医	12
産婦人科専門医	16	救急科専門医	6
		合計	187

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (大屋 祐輔) 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

医療安全管理責任者、医療安全管理委員会委員長、医療安全調査委員会委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	435.6 人	6.4 人	442 人
1日当たり平均外来患者数	1058.4 人	73.2 人	1131.6 人
1日当たり平均調剤数		864	剤
必要医師数		103.3	人

必要歯科医師数	4.66	人
必要薬剤師数	15	人
必要(准)看護師数	244	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数			
集中治療室	163.07 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	8 床	心電計	有
人工呼吸装置			有	心細動除去装置	有	
その他の救急蘇生装置			有	ペースメーカー	有	
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	54.25	m ²	病床数	6 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	54.25 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名	医薬品情報室・薬剤部員室			
化学検査室	350.6 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液検査システム		
細菌検査室	126.94 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動迅速同定感受性測定装置		
病理検査室	151.73 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	凍結組織切片作成装置		
病理解剖室	58.44 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	SL写真撮影装置		
研究室	6101 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	HSオールインワン蛍光顕微鏡システム		
講義室	525.91 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	373 人
図書室	807 m ²	鉄筋コンクリート	室数	5 室	蔵書数	100,678 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	69.9	%	逆紹介率	51.5	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		11,167		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,730		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		684		人
	D: 初診の患者の数		16,957		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

綾部 貴典	宮崎大学医学部付属病院	○	医療に係る安全管理に関する見識を有する者	無	1
望月 保博	かりゆし法律事務所		法律に関する見識を有する者	無	1
照喜名 通	NPO法人アンビシャス		医療を受ける立場にある者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
大学公式ホームページ及び病院公式ホームページでの公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	12
流産検体を用いた染色体検査	0
先進医療の種類合計数	2
取扱い患者数の合計(人)	12

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	HBOC患者に対する予防的乳房切除	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 遺伝性乳癌、卵巣癌症候群の患者に対して、予防的に乳房切除を行うこと。県内では施設認定された琉大病院のみ可である。			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術	取扱患者数	80
当該医療技術の概要 経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)は、重症大動脈弁狭窄症に対する低侵襲治療である。TAVIは、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会に認定された医療機関のみが施行可能な治療法である。			
医療技術名	癒着胎盤例に対する子宮全摘術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 癒着胎盤に対する子宮全摘術は、大量出血により致死的になる可能性のある疾患であり、高い技術と術前の綿密な準備を要す。術前の重症度評価と、麻酔科、泌尿器科、放射線科、ICU、小児科との連携により救命し得る。			
医療技術名	広汎子宮頸部摘出術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 妊孕性温存を希望する若年の子宮頸癌(初期浸潤癌)に対し行う手術である。			
医療技術名	妊孕性温存目的卵巣凍結	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 小児(0~14才)のがん患者が、がん治療により妊娠する能力を失ってしまう可能性がある場合、がん治療前に卵巣を凍結し、がん克服後に融解し、移植する技術である。			
医療技術名	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 腹腔鏡下に子宮頸癌に対して行う手術である。			
医療技術名	全身化学療法不応肝転移に対するTACE	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 肝転移による肝障害は全身状態を悪化させ、予後を縮めるため、TACEを行うことで肝局所の病変をコントロールすることで全身状態の維持、予後延長を図る緩和治療。			
医療技術名	放射線治療不応骨転移に対する動注化学塞栓術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 放射線治療後の再発あるいは無効である骨転移症例に対して行っている。			
医療技術名	全身照射	取扱患者数	42
当該医療技術の概要 骨髄移植の前処置としての全身照射を県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	前立腺癌に対する小線源刺入療法	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 前立腺癌の根治を目的とした治療法の1つである小線源刺入療法を県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	婦人科悪性腫瘍に対する腔内照射/組織内照射	取扱患者数	60
当該医療技術の概要 子宮頸癌の標準治療に含まれ、また子宮体癌、外陰癌、腔癌等の婦人科悪性腫瘍に対しても適応のある腔内照射を県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	動体追尾照射	取扱患者数	5

当該医療技術の概要			
肺癌や肝癌では、呼吸性の移動が大きい。動体追尾照射では、リアルタイムに腫瘍の一を確認することが出来るため、照射体積を縮小した治療が可能である。			
医療技術名	椎間板内酵素注入療法	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
腰椎椎間板ヘルニアに対する治療で、十分な知識、経験を持つ医師、椎間板剥刺に熟達した医師が行う。ショックやアナフィラキシーに対処できる施設で行う。			
医療技術名	成人脊柱変形及び症候性側弯症手術	取扱患者数	17
当該医療技術の概要			
高度に変形した脊柱を矯正、固定する手術で、高い手術技術を要する。県内では本院のみで施行している。			
医療技術名	腫瘍脊椎骨全摘出術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
脊椎腫瘍に対する根治手術で高い手術技術が必要である。県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	アミレブリン酸による術中蛍光診断	取扱患者数	60
当該医療技術の概要			
アミレブリン酸は、悪性神経膠腫や髄膜腫では、細胞内に取り込まれた後、ミトコンドリア内にてプロトポルフィリンIXへと代謝され、腫瘍細胞内に選択的に蓄積する。プロトポルフィリンIXは、光高感受性物質であり、青色光線(400-410nm)により励起されると、赤色発光するため、術中に腫瘍と正常組織との識別が可能となり、摘出率の向上及び予後の改善に重要な			
医療技術名	画像誘導装置を用いた脳腫瘍摘出術	取扱患者数	80
当該医療技術の概要			
脳腫瘍摘出術中にニューロナビゲーションシステムを用いて頭蓋内病変の位置と周囲神経線維、脳神経、主要血管の位置を同定し、より安全で確実な病変の摘出と神経機能温存を可能にする技術である。			
医療技術名	術中ICG蛍光血管撮影	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
術中にインドシアングリーン(ICG)を静脈内投与し、赤外線による蛍光により頭蓋内血管を同定する。脳腫瘍における栄養血管の評価、周囲静脈系の評価に有効である。また、血行再建術やクリッピング術において、処置の精度、血管温存の確認などの評価が術中に可能であり、安全で質の高い手術を行うための技術である。			
医療技術名	術中神経機能モニタリング	取扱患者数	80
当該医療技術の概要			
術中に誘発電位や筋電図を記録することにより、神経機能を直接評価しつつ手術を行うことが可能となる技術である。運動誘発電位、脳神経モニタリング、聴性脳幹反応、体性感覚誘発、視覚誘発電位があり神経機能温存のために有用である。			
医療技術名	ロボットスーツを用いたニューロリハビリテーション	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
身体に装着することによって、身体機能を補助・増幅・拡張することができるサイボーグ型ロボットHAL(Hybrid Assistive Limb)を使用したリハビリテーションである。脳腫瘍や脳卒中による運動機能障害を有する患者の急性期リハビリテーションに有用である。			
医療技術名	経頭蓋直流電気刺激法を用いたニューロリハビリテーション	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
tDCS(経頭蓋直流電気刺激法)は、障害脳の頭皮上に陽極電極、反対側に陰極電極を設置して、1mAの直流電流を用いて10-30分間刺激を行う電気刺激法であり、障害脳の興奮性シグナルを増加させ、健側脳の過活動を抑制することで、大脳半球間の不均衡を修正し、脳の可塑的变化を促進すると考えられている装置である。脳腫瘍、脳卒中、頭部外傷による機能障害を有する患者の急性期リハビリテーションに有用である。			
医療技術名	悪性脳腫瘍に対する光線力学療法	取扱患者数	10
当該医療技術の概要			
浸潤性性格を有する悪性脳腫瘍に対して、腫瘍切除後、浸潤最先端部を術中MRIにて同定し、マイクロ顕微鏡による直視とナビ画像により浸潤最先端部を術野に同定し、光線力学療法によりがん細胞を選択的に焼するものである。患者生命予後の向上に寄与している。			
医療技術名	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	取扱患者数	12
当該医療技術の概要			
抗癌剤化学療法は多くの施設で画一的に同じ組み合わせで施行されているが、抗癌剤に対する感受性は個々の腫瘍によって異なり、また同一患者においても組織学的な悪性のグレードおよび初発または再発の腫瘍で相違する。化学療法前に抗癌剤に対する感受性をあらかじめ解析することにより、それに応じた抗癌剤の組み合わせで最適、有効な治療を実践する。			

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	23
取り扱い患者数の合計(人)	537

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	71	プロピオン酸血症	1
2	筋萎縮性側索硬化症	10	72	イソ吉草酸血症	1
3	脊髄性筋萎縮症	1	73	ポルフィリン症	2
4	進行性核上性麻痺	9	74	肝型糖原病	2
5	パーキンソン病	55	75	先天異常症候群	1
6	大脳皮質基底核変性症	4	76	ベーチェット病	19
7	ハンチントン病	4	77	特発性拡張型心筋症	26
8	シャルコー・マリー・トウス病	1	78	肥大型心筋症	6
9	重症筋無力症	35	79	拘束型心筋症	1
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	40	80	再生不良性貧血	10
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	5	81	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
12	封入体筋炎	1	82	特発性血小板減少性紫斑病	21
13	多系統萎縮症	6	83	原発性免疫不全症候群	2
14	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	8	84	IgA 腎症	68
15	ライゾーム病	20	85	多発性嚢胞腎	26
16	副腎白質ジストロフィー	1	86	黄色靱帯骨化症	6
17	ミトコンドリア病	5	87	後縦靱帯骨化症	40
18	もやもや病	5	88	広範脊柱管狭窄症	7
19	亜急性硬化性全脳炎	5	89	特発性大腿骨頭壊死症	69
20	HTLV-1関連脊髄症	12	90	下垂体性ADH分泌異常症	18
21	全身性アミロイドーシス	5	91	下垂体性PRL分泌亢進症	8
22	ウルリッヒ病	1	92	クッシング病	3
23	遠位型ミオパチー	1	93	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
24	神経線維腫症	10	94	下垂体前葉機能低下症	68
25	天疱瘡	23	95	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
26	表皮水疱症	1	96	アジソン病	2
27	膿疱性乾癬(汎発型)	12	97	サルコイドーシス	39
28	高安動脈炎	16	98	特発性間質性肺炎	5
29	結節性多発動脈炎	3	99	肺動脈性肺高血圧症	19
30	顕微鏡的多発血管炎	17	100	慢性血栓性肺高血圧症	21
31	多発血管炎性肉芽腫症	12	101	リンパ脈管筋腫症	5
32	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	102	網膜色素変性症	19
33	悪性関節リウマチ	4	103	バッド・キアリ症候群	4
34	バージャー病	5	104	特発性門脈圧亢進症	2
35	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	105	原発性胆汁性胆管炎	40
36	全身性エリテマトーデス	120	106	原発性硬化性胆管炎	1
37	皮膚筋炎／多発性筋炎	64	107	自己免疫性肝炎	10
38	全身性強皮症	82	108	クローン病	121
39	混合性結合組織病	9	109	潰瘍性大腸炎	104
40	シェーグレン症候群	36	110	好酸球性消化管疾患	2
41	成人ステル病	3	111	若年性特発性関節炎	12
42	再発性多発軟骨炎	4	112	ブラウ症候群	1
43	筋ジストロフィー	6	113	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	17
44	遺伝性周期性四肢麻痺	2	114	特発性後天性全身性無汗症	11
45	アトピー性脊髄炎	1	115	眼皮皮膚白皮症	1
46	脊髄空洞症	4	116	肥厚性皮膚骨膜炎	1
47	脊髄髄膜瘤	3	117	マルファン症候群	8
48	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性	1	118	エーラス・ダンロス症候群	2
49	前頭側頭葉変性症	1	119	ウィルソン病	5
50	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1	120	低ホスファターゼ症	2
51	アレキサンダー病	1	121	ウィリアムズ症候群	1
52	レノックス・ガストー症候群	1	122	5p欠失症候群	1
53	ウエスト症候群	1	123	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

54	レット症候群	1	124	家族性地中海熱	1
55	スタージ・ウェーバー症候群	2	125	強直性脊椎炎	2
56	結節性硬化症	9	126	骨形成不全症	4
57	色素性乾皮症	1	127	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
58	先天性魚鱗癬	1	128	後天性赤芽球癆	4
59	ファロー四徴症	1	129	クロンカイト・カナダ症候群	1
60	アルポート症候群	1	130	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
61	抗糸球体基底膜腎炎	1	131	胆道閉鎖症	1
62	一次性ネフローゼ症候群	16	132	アラジール症候群	1
63	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	133	IgG4関連疾患	5
64	紫斑病性腎炎	3	134	アッシャー症候群	1
65	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	135	若年発症型両側性感音難聴	1
66	カーニー複合	1	136	好酸球性副鼻腔炎	24
67	副甲状腺機能低下症	1	137	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	3
68	偽性副甲状腺機能低下症	1	138	特発性多中心性キャッスルマン病	3
69	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	139		
70	フェニルケトン尿症	2	140		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	138
合計患者数(人)	1674

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般7:1、精神13:1、結核7:1)	・ハイリスク妊娠管理加算
・ADL維持向上等体制加算	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・超急性期脳卒中加算	・後発医薬品使用体制加算2
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・医師事務作業補助体制加算1(20対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・急性期看護補助体制加算(25対1看護補助者 5割以上)	・データ提出加算2のイ
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・入退院支援加算1 入退院支援加算1(入院時支援加算)
・夜間看護体制加算	・入退院支援加算1(総合機能評価加算)
・看護職員12対1夜間配置加算1	・入退院支援加算3
・看護補助加算2	・認知症ケア加算2
・療養環境加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・重症者等療養環境特別加算	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算1	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・無菌治療室管理加算2	・排尿自立支援加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合、密封小線源による場合)	・地域医療体制確保加算
・緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料1(小児加算)
・精神科応急入院施設管理加算	・特定集中治療室管理料1(早期離床・リハビリテーション加算)
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料1(早期栄養介入管理加算)
・精神科リエゾンチーム加算	・ハイケアユニット入院医療管理料2
・摂食障害入院医療管理加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・栄養サポートチーム加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医療安全対策加算1	・小児入院医療管理料2(プレイルーム加算)
・感染対策向上加算1	・無菌治療管理加算2
・指導強化加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・外来栄養食事指導料の注3に規定する施設基準	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・糖尿病合併症管理料	・網膜再建術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
・がん患者指導管理料 イ	・人工中耳植込術
・がん患者指導管理料 ロ	・人工内耳植込術
・がん患者指導管理料 ハ	・植込型骨導補聴器移植術
・がん患者指導管理料 ニ	・植込型骨導補聴器交換術
・外来緩和ケア管理料	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・人工中耳用材料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・糖尿病透析予防指導管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・小児運動器疾患指導管理料	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・婦人科特定疾患治療管理料	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・腎代替療法指導管理料	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・一般不妊治療管理料	・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術通則第19号)
・生殖補助医療管理料1	・乳がんセンチネルリンパ節加算1(乳腺悪性腫瘍手術の加算)及びセンチネルリンパ節生検(片側・併用)
・二次性骨折予防継続管理料1	・乳がんセンチネルリンパ節加算2(乳腺悪性腫瘍手術の加算)及びセンチネルリンパ節生検(片側・単独)
・二次性骨折予防継続管理料3	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・院内トリアージ実施料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・救急搬送看護体制加算1	・胸腔鏡下弁形成術
・外来放射線照射診療料	・経カテーテル大動脈弁置換術
・外来腫瘍化学療法診療料1	・胸腔鏡下弁置換術

・連携充実加算	・経皮的僧帽弁クリップ術
・ニコチン依存症管理料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・相談支援加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・がん治療連携計画策定料	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
・外来排尿自立指導料	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・薬剤管理指導料	・補助人工心臓
・医療機器安全管理料1	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・医療機器安全管理料2	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・精神科退院時共同指導料2	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・持続血糖測定器加算	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・持続血糖測定器加算	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・染色体検査の注2 流産検体を用いた絨毛検査	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・骨髄微小残存病変量測定	・腹腔鏡下肝切除術(1 部分切除 2 外側区域切除 3 垂区域切除 4 1区域切除(外側区域切除を除く) 5 2区域切除 6 3区域切除以上のもの)
・BRCA1/2遺伝子検査	・生体部分肝移植術
・がんゲノムプロファイリング検査	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・先天性代謝異常症検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・抗HLA(スクリーニング検査)及び抗HLA(抗体特異性同定検査)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・検体検査管理加算(I)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・検体検査管理加算(IV)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を使用した場合)
・国際標準検査管理加算	・同種死体腎移植術
・遺伝カウンセリング加算	・生体腎移植術

・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・膀胱水圧拡張術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・時間内歩行試験	・人工尿道括約筋植込・置換術
・シャトルウォーキングテスト	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)
・ヘッドアップティルト試験	・埋没陰茎手術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・光トポグラフィー	・精巣内精子採取術
・神経学的検査	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・黄斑局所網膜電図	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・全視野精密網膜電図	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・内服・点滴誘発試験	・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術通則第19号)
・画像診断管理加算3	・体外式膜型人工肺管理料
・遠隔画像診断	・胃瘻造設術
・ポジロン断層撮影	・輸血管理料Ⅱ
・ポジロン断層・コンピューター断層複合撮影	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・CT撮影及びMRI撮影	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・冠動脈CT撮影加算	・同種クリオプレシピテート作製術
・心臓MRI撮影加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・乳房MRI撮影加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・麻酔管理料(Ⅰ)
・頭部MRI撮影加算	・麻酔管理料(Ⅱ)
・全身MRI撮影加算	・周術期薬剤管理加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・放射線治療専任加算
・外来化学療法加算1	・外来放射線治療加算
・無菌製剤処理料	・高エネルギー放射線治療
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算)	・1回線量増加加算(全乳房照射)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算)	・1回線量増加加算(前立腺照射)(IMRTの加算)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・摂食嚥下機能回復体制加算	・体外照射呼吸性移動対策加算
・がん患者リハビリテーション料	・定位放射線治療

・集団コミュニケーション療法料	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算(動体追尾法・その他)
・児童思春期精神科専門管理加算	・画像誘導密封小線源治療加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・デジタル病理画像による術中迅速病理診断組織標本作製
・医療保護入院等診療料	・デジタル病理画像による迅速細胞診
・静脈圧迫処置	・病理診断管理加算2
・硬膜外自家血注入	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・医療機器安全管理料(歯科)
・導入期加算2 腎代替療法実績加算	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算歯科治療時医療管理料
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・有床義歯咀嚼機能検査
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・咀嚼能力検査
・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	・咬合圧検査
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・歯科口腔リハビリテーション料2
・センチネルリンパ節加算	・手術用顕微鏡加算(加圧根幹充填処置の加算)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・歯根端切除手術の注3(歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・歯周組織再生誘導手術
・椎間板内酵素注入療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・口腔病理診断管理加算2
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・CAD/CAM冠
・仙骨神経刺激装置植込術及び交換術(過活動膀胱)	・歯科矯正診断料
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするもの)に限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・MEN1遺伝子診断	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	・病理部症例検討会 104回 ・検査・輸血部症例検討会 51回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 13 例 / 剖検率 7.2 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の発展	中西 浩一	育成医学講座	500,000	①補委 厚生労働省科学研究費(研究分担者)
成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの充実化に資する研究	藤田 次郎	感染症・呼吸器・消化器内科学講座	400,000	①補委 厚生労働省科学研究費(研究分担者)
難治性聴覚障害に関する調査研究	鈴木 幹男	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	500,000	①補委 厚生労働省科学研究費(研究分担者)
特発性大腿骨壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に資する大規模多施設研究	仲宗根 哲	整形外科科学講座	200,000	①補委 厚生労働省科学研究費(研究分担者)
MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究	健山 正男	感染症・呼吸器・消化器内科学講座	900,000	①補委 厚生労働省科学研究費(研究分担者)
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	古泉 秀貴	眼科	一括経理	①補委 厚生労働省科学研究費(研究分担者)
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	石原 聡	循環器・腎臓・神経内科学講座	300,000	①補委 厚生労働省科学研究費(研究分担者)
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移に関する研究	高槻 光寿	第一外科	200,000	①補委 厚生労働省科学研究費(研究分担者)
腫瘍壊死因子から見た難治性うつ病性障害の病態解明とその治療戦略について	三原 一雄	精神病態医学	500,000	①補委 日本学術振興会 科研費
脳機能ネットワークの観点から行うPusher現象の病態解析と新規治療法の開発	西村 正彦	脳神経外科学講座	800,000	①補委 日本学術振興会 科研費
脳機能画像を応用した経頭蓋直流刺激による音声障害・嚥下障害の治療	喜友名 朝則	耳鼻咽喉科	900,000	①補委 日本学術振興会 科研費
頭頸部領域のヒト乳頭腫ウイルス受容体の解析	金城 秀俊	耳鼻咽喉科	500,000	①補委 日本学術振興会 科研費
糖尿病性膀胱機能障害への磁気刺激神経調整的新システムの確立-基礎・臨床的検討	木村隆)腎泌尿器外科	400,000	①補委 日本学術振興会 科研費
バイオ医薬品の有効性・安全性に関わる因子の検討	中村 克徳	薬剤部	900,000	①補委 日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
宮古島のHHV8にみられる遺伝子変異の意義	大野 真治	ウイルス学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会 科研費
4D flow MRIによる肺高血圧症の早期発見と治療効果判定法の開発	村山貞之	放射線診断講座	600,000	補委	日本学術振興会 科研費
ATLにおける制御性T細胞の選択的な増殖機構: OX40L/OX40に着目して	水口真理子	免疫学講座	1,000,000	補委	日本学術振興会 科研費
脂肪幹細胞由来神経細胞による胸腹部大動脈術後虚血性対麻痺に対する新規治療法の開発	清水 雄介	形成外科学講座	900,000	補委	日本学術振興会 科研費
新規ウイルス投与方法によるALS局所モデルと治療法の探索:TDP43断片化の病理	神里 興太	麻酔科学講座	1,600,000	補委	日本学術振興会 科研費
鼻副鼻腔内反性乳頭腫の診断、再発、悪性転化のバイオマーカー探索と機序の解明	山下 懐	耳鼻・頭頸部講座	600,000	補委	日本学術振興会 科研費
診療の質指標の評価結果のフィードバックで、大腸がん診療の質の格差を解消できるか?	増田 昌人	がんセンター	800,000	補委	日本学術振興会 科研費
手術のためのバーチャルリアリティ変形性物理シミュレーション・システムの開発	宮城 智央	脳神経外科	300,000	補委	日本学術振興会 科研費
成人T細胞性白血病リンパ腫におけるSTAT3活性化とインターフェロン療法との関連性	森近 一穂	内分泌・膠原病講座	1,100,000	補委	日本学術振興会 科研費
頭頸部癌における癌幹細胞マーカーの同定	近藤 俊輔	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委	日本学術振興会 科研費
先天性頸部疾患におけるヒト乳頭腫ウイルス感染	上里 迅	耳鼻咽喉科	800,000	補委	日本学術振興会 科研費
組織トランスグルタミナーゼに着目した多発性嚢胞腎病態に基づく疾患特異的治療の開発	中西 浩一	育成医学講座	1,500,000	補委	日本学術振興会 科研費
リボソームタンパク質のリン酸化を介した先天性貧血における造血制御機構の解析	鳥原 英嗣	生化学講座	1,600,000	補委	日本学術振興会 科研費
抗がん剤心血管毒性の克服とがんサバイバーの心血管リスク低減を目指した臨床研究	植田 真一郎	臨床薬理学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
HLAの異常に基づく成人T細胞白血病リンパ腫の個別化免疫療法を目指した基礎的研究	森島 聡子	内分泌・膠原病講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
玄米機能成分による脳内アセチルコリンシグナル制御と依存症・認知症改善の分子機構	益崎 裕章	内分泌・膠原病講座	1,100,000	補委	日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
前立腺癌の悪性度に関わる幹細胞マーカーSSEA-4の役割	須田 哲司	腎泌尿器科講座	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
頭頸部癌におけるctDNA検出法の確立および臨床応用	平川 仁	耳鼻咽喉科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
女性骨盤底機能障害のレジストリ作成に基づいた予防・先端治療の確立	芦刈 明日香	腎泌尿器外科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科研費
子宮頸癌の網羅的ゲノム解析による放射線治療効果の予測因子の探索	前本 均	放射線科	2,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
4D Flow MRIを用いたバッド・キアリ症候群の血流定量解析	土屋 奈々絵	放射線診断講座	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科研費
ヒト海馬神経新生能の非侵襲的測定	小林 繁貴	脳神経外科学講座	300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
小脳腫瘍摘出前後でのfMRIと脳波の同時計測によるバイオマーカー同定	上 薫	脳神経外科学講座	300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
子宮動脈に対する4D-flow MRIの有効性と臨床的有用性の検討	伊良波 裕子	放射線科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
アテロームの2病型をモデルとした、表皮一毛包上皮間の相互分化機序の理解	山口 さやか	皮膚科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科研費
頭部血管肉腫の病態に迫る複層的な腫瘍ゲノム変異パターンの解析から治療戦略の構築へ	内海 大介	皮膚病態講座	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
新規AIによる病態関連遺伝子群の複合的抽出による皮膚型ATLの鑑別アルゴリズム	宮城 拓也	皮膚病態講座	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科研費
GVHD関連骨髄不全の脂肪組織由来間葉系幹細胞エクソソームによる治療開発	西 由希子	検査・輸血部	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
Novel viral noncoding RNAs in head and neck cancers	小杉 隆誠	耳鼻・頭頸部講座	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
HPV関連頭頸部癌におけるmTOR経路Raptorを標的とした新規治療の開発	上原 貴行	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科研費
強膜断層像に着目した黄斑疾患の病態解明	今永 直也	眼科学講座	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科研費
磁性アタッチメントを用いた簡便かつ低侵襲なエピテーゼ装着法の開発	笠井 昭吾	形成外科	900,000	補 委	日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
口腔がん再発予防ペプチドカクテルワクチンの樹立に関する基礎的研究	宮本 昇	歯科口腔外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科研費
ゲノム解析を応用した膵癌遠隔転移制御の解明とその新規治療戦略	川俣 太	第一外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科研費
リーシュマニア症およびシャーガス病の感染・病態リスク評価系の構築	山本 雄一	皮膚科	200,000	補 委	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
細胞骨格ダイナミクスに基づく分子輸送制御システムの解明と革新的癌創薬への新展開	野口 洋文	再生医学講座	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
病原性レプトスピラによる細胞間接着装置の破壊戦略の解明	Toma Claudia	細菌学講座	5,000,000	補 委	日本学術振興会 科研費
高速原子間力顕微鏡で解き明かすリボソームの機能ダイナミクス	今井 大達	先進医療創成科学講	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科研費
腎癌骨転移の骨関連有害事象(SRE)低減に向けた治療法の開発	平安名 常一	放射線部	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科研費
小児期シェーグレン症候群におけるCD38による腺外組織障害への進展機序の解明	金城 紀子	育成医学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
がんウイルスが形成するハイブリッド転写開始前複合体の全体構成解明と創薬シーズ探索	渡部 匡史	ウイルス学講座	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科研費
血管内皮細胞機能の補完は腸管虚血の予後を改善するか:新規マウス虚血モデルでの検討	林 美鈴	麻酔科学講座	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科研費
骨肉腫における抗がん剤耐性や肺転移に関するマイクロRNAの解析	當銘 保則	整形外科科学講座	900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
抑制性伝達物質発現調整によるジストニア改善の試み;GAD65とVGAT過剰発現	湊上 竜也	集中治療部	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科研費
実験的自己免疫性膀胱炎ラットを用いた間質性膀胱炎・膀胱痛症候群の病態解明	嘉手川 豪心	細胞病理学講座	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科研費
PI3K/Akt/mTOR経路を標的とした頭頸部癌低侵襲治療の開発	鈴木 幹男	耳鼻・頭頸部講座	900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
頭頸部癌発症に関する遺伝子多型と生活習慣	比嘉 朋代	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
慢性腎臓病における運動、身体活動量と腎微小循環の関連に関する探索的研究	古波蔵 健太郎	血液浄化療法部	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
Neuroprotective effect of extra virgin olive oil (EVOO) in a genetic murine model of accelerated senescence and cognitive impairment	MILLMAN JAS MINE・FRANCE S	内分泌・膠原病講座	2,000,000	補	日本学術振興会 科研費
SafeCTのノイズ除去処理によるearly CT signの描出改善の検討	與儀 彰	放射線部	1,600,000	補	日本学術振興会 科研費
脊髄供血環境の新たな評価法と脊髄虚血障害予防への応用	喜瀬 勇也	心臓血管外科講座	1,700,000	補	日本学術振興会 科研費
ヒト乳頭腫ウイルス関連頭頸部癌の低酸素状態の分子機構に着目した低侵襲治療開発	安慶名 信也	耳鼻咽喉科	1,200,000	補	日本学術振興会 科研費
新規遺伝子や低分子化合物を用いた組織特異的幹細胞の人工作製	野口 洋文	再生医学講座	1,500,000	補	日本学術振興会 科研費
がん抗原の発現増強の新技术としてのmRNA監視機構阻害	山下 暁朗	先進医療創成科学講	2,500,000	補	日本学術振興会 科研費
FLRT2を介した癌骨浸潤・転移機構の解明とその制御による骨転移予防の可能性	白川 純平	顎顔面口腔講座	1,200,000	補	日本学術振興会 科研費
Prickle2の発現を制御するmiRNAのマウスを用いた遺伝学的解析	樋口 裕城	システム生理学講座	791,319	補	日本学術振興会 科研費
OTN-NIR蛍光によるDDSナノキャリアの動的三次元追跡	岸本 英博	寄生虫・免疫講座	250,000	補	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
EphA4活性化により生じる高分化型口腔癌メロノーム化学療法耐性機構の解明	金城 貴夫	形態病理分野	50,000	補	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
EphA4活性化により生じる高分化型口腔癌メロノーム化学療法耐性機構の解明	宮本 昇	歯科口腔外科	50,000	補	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
難治性うつ状態の治療における多職種チーム医療を用いた再発の予測と予防に関する検討	高江洲 義和	精神病態医学講座	70,000	補	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
歯の再生を目指したヒト乳歯歯髄管細胞濃縮と機能解析	野口 洋文	再生医学講座	150,000	補	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
重症二次性三尖弁逆流に対するスパイラル・サスペンション法の有効性に関する臨床研究	古川 浩二郎	心臓血管外科講座	50,000	補	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	健山 正男	感染症・呼吸器・消化器内科学	585,000	補	日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補 委	元
新規HTLV-1感染モデルを用いたHAMの発症予防法・治療	田中 勇悦	血液免疫検査学	2,990,000	補 委	日本医療研究開発機構 (研究分担者)
骨盤臓器脱及び下部尿路疾患の網羅的情報に基づいた選別化と個別化治療戦略	宮里 実	システム生理学	13,100,000	補 委	日本医療研究開発機構
思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	青木 陽一	女性・生殖医学講座	130,000	補 委	日本医療研究開発機構 (研究分担者)
糖尿病合併冠動脈疾患レジストリを基盤としたコルヒチン第3相検証的試験の実施とRCT On Registryに向けたレジストリデータの品質管理と標準化に関する研究	植田 真一郎	臨床薬理学	23,899,312	補 委	日本医療研究開発機構
アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム	高橋 健造	皮膚病態制御学	2,600,000	補 委	日本医療研究開発機構
マルチオミックス連関による循環器疾患における次世代型精密医療の実現	健山 正男	感染症・呼吸器・消化器内科学	9,200,000	補 委	日本医療研究開発機構 (研究分担者)
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRU D)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	知念 安紹	育成医学	3,900,000	補 委	日本医療研究開発機構 (研究分担者)
琉球大学を起点としたヒト細胞原料供給体制の実証	清水 雄介	形成外科学	49,400,000	補 委	日本医療研究開発機構
臨床研究トレーニングに組み入れ可能な能動的研究倫理学習プログラムの開発	前田 士郎	先進ゲノム検査医学	4,550,000	補 委	日本医療研究開発機構
生活習慣病の予防・診療の質向上に資するエビデンス創出研究	前田 士郎	先進ゲノム検査医学	3,594,596	補 委	日本医療研究開発機構 (研究分担者)
ゲノム情報により造血幹細胞移植の最適化を目指す研究	青木 陽一	女性・生殖医学講座	650,000	補 委	日本医療研究開発機構 (研究分担者)
シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果ープラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験	青木 陽一	女性・生殖医学講座	325,000	補 委	日本医療研究開発機構 (研究分担者)
COVID-19 ウイルスゲノムシーケンシングによるワクチン・薬剤耐性関連変異株・海外変異株の予防的国内監視システムの構築	金城 武士	感染症・呼吸器・消化器内科学	1,300,000	補 委	日本医療研究開発機構 (研究分担者)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
病院外療養患者に対応可能なハイブリッド型パーチャル試験の手法を取り入れたCOVID-19患者におけるコルヒチン第3相試験プロトコルコンセプト作成	植田 真一郎	臨床薬理学	6,500,000	補 委	日本医療研究 開発機構
筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対する遺伝子治療法の開発	垣花 学	麻酔科学講座	650,000	補 委	日本医療研究 開発機構 (研究分担者)
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者における低容量コルヒチンによる宿主過剰炎症反応予防に向けた抗炎症治療の医師主導治験による開発	植田 真一郎	臨床研究教育管理センター	14,950,000	補 委	日本医療研究 開発機構
家族性LCAT欠損症を対象としたLCAT-GMAC治療実用化に向けた医師主導治験	益崎 裕章	第二内科	1,950,000	補 委	日本医療研究 開発機構
地域統括相談支援センター事業	増田 昌人	がんセンター	7,960,711	補 委	沖縄県
がん患者等支援事業	増田 昌人	がんセンター	8,631,507	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療支援センター運営事業費	大屋 祐輔	病院長	35,237,820	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療支援センター運営事業費	健山 正男	第一内科	750,000	補 委	エイズ予防財団
HIV感染者等保健福祉相談事業	健山 正男	第一内科	917,000	補 委	沖縄県
沖縄県肝疾患診療連携拠点病院事業	前城 達次	第一内科	10,596,000	補 委	沖縄県
沖縄県認知症疾患医療センター事業	近藤 毅	認知症疾患医療センター	8,074,000	補 委	沖縄県
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	前城 達次	第一内科	833,000	補 委	国立国際医療 研究センター
HIV診療医師情報網支援事業	健山 正男	第一内科	198,000	補 委	九州ブロックエイズ診療ネットワーク
沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーター配置委託	健山 正男	第一内科	6,000,000	補 委	沖縄県
沖縄県難病医療提供体制整備事業	大屋 祐輔	病院長	5,203,999	補 委	沖縄県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補 委	
沖縄県新生児聴覚検査体制整備事業	鈴木 幹男	耳鼻咽喉科	6,300,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援事業	銘苅 桂子	周産母子センター	11,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルスワクチン接種に係る臨床検査技師・救急救命士の研修委託	奥村 耕一郎	おきなわ シミュレーションセンター	1,060,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルスワクチン接種に係るアナフィラキシー反応シミュレーション研修委託業務	奥村 耕一郎	おきなわ シミュレーションセンター	654,500	補 委	沖縄県
国立大学法人設備整備費補助金	前田 士郎	先進ゲノム検査医学	186,201,000	補 委	文部科学省
新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン	福島 卓也	病態検査学講座	1,068,000	補 委	国立大学法人九州大学
ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	照屋 典子	成人・老年看護学講座	9,950,000	補 委	文部科学省
新型コロナウイルス感染症入院病床確保支援事業補助金	大屋 祐輔	病院長	1,702,186,000	補 委	沖縄県
地域医療関連講座設置事業	大屋 祐輔	病院長	24,475,000	補 委	沖縄県
救急から提案する高齢者地域包括医療(高齢者施設と救急)	梅村 武寛	救急部	6,033,000	補 委	沖縄県
指導医育成プロジェクト事業	武村 克哉	地域医療部	4,661,000	補 委	沖縄県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	増田 昌人	がんセンター	64,668,000	補 委	厚生労働省
沖縄県新人看護職員研修事業	大屋 祐輔	病院長	1,355,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(認定看護師・特定行為研修支援事業)	大屋 祐輔	病院長	12,518,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金(医師派遣推進事業)	大屋 祐輔	病院長	280,741,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金(産科医等確保支援事業)	大屋 祐輔	病院長	606,000	補 委	沖縄県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
ヘリコプター等添乗医師等派遣協力病院支援事業補助金	大屋 祐輔	病院長	1,040,000	補 委	沖縄県
医療施設運営費等補助金	大屋 祐輔	病院長	902,000	補 委	厚生労働省
地域災害拠点病院設備整備事業	梅村 武寛	救急部	2,408,000	補 委	沖縄県
NBC災害・テロ対策設備整備事業	梅村 武寛	救急部	7,164,000	補 委	沖縄県
特定行為研修機関支援事業	大屋 祐輔	病院長	120,000	補 委	沖縄県
医師臨床研修費等補助金(医師)	大屋 祐輔	病院長	12,239,000	補 委	沖縄県
沖縄県外科系医師育成事業	大屋 祐輔	病院長	1,000,000	補 委	沖縄県
造血幹細胞移植医療体制整備事業	益崎 裕章	第二内科	34,219,000	補 委	厚生労働省
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業	大屋 祐輔	病院長	38,656,000	補 委	沖縄県
救急・周産期・小児医療体制確保事業(設備整備等事業)	大屋 祐輔	病院長	12,546,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業	大屋 祐輔	病院長	79,089,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症医療機関協力金交付事業	大屋 祐輔	病院長	150,400,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	大屋 祐輔	病院長	382,500,000	補 委	厚生労働省
帰国者・接触者外来等設備整備事業	大屋 祐輔	病院長	3,023,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症医療機関協力金(年末年始)	大屋 祐輔	病院長	363,000	補 委	沖縄県
障害者総合支援事業費補助金(補装具装具訓練等支援事業)	神谷 武志	リハビリテーション部	3,206,000	補 委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
医師定着のための臨床研究プロフェッショナル育成事業	大屋 祐輔	病院長	7,350,000	補 ○ 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(勤務医等環境整備事業)	大屋 祐輔	病院長	3,251,000	補 ○ 委	沖縄県
看護師の特定行為に係る指導者育成事業	大屋 祐輔	病院長	1,011,000	補 ○ 委	厚生労働省
看護職員等処遇改善事業	大屋 祐輔	病院長	6,264,995	補 ○ 委	沖縄県

計 141

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Chikaraishi Y, Arakaki Y, Koizumi H.	眼科	Temporary changes of visual outcomes and anterior chamber parameters after phacoemulsification and low-add-power segmented intraocular lens implantation for primary angle closure disease.	International Ophthalmology, 2021 Jul;41(7):2485-2494	Original Article
2	Imanaga N, Terao N, Sawaguchi S, et al.	眼科	Clinical Factors Related to Loculation of Fluid in Central Serous Chorioretinopathy.	American Journal of Ophthalmology, 2022 Mar; 235:197-203	Original Article
3	Terao N, Imanaga N, Wakugawa S, et al.	眼科	Short Axial Length Is Related to Asymmetric Vortex Veins in Central Serous Chorioretinopathy.	Ophthalmology Science, 2021 Dec; 1(4): 100071	Original Article
4	Kasai S, Shimizu Y, Ohara H et al	形成外科	Use of an Orbital Septum Flap for Correcting Severe Blepharoptosis	Aesthetic Plastic Surgery. 2021 Aug; 45(4): 1593-1600.	Original Article
5	Zamami R,Kohagura K,Nakamura T,et al.	血液浄化療法部	The Association between Glomerular Diameter and Secondary Focal Segmental Glomerulosclerosis in Chronic Kidney Disease.	Kidney and Blood Pressure Research.2021 Aug;46(4):433-440.	Original Article
6	Yamanouchi M,Furuichi K,Kohagura K,et al.	血液浄化療法部	Two-year longitudinal trajectory patterns of albuminuria and subsequent rates of end-stage kidney disease and all-cause death:a nationwide cohort study of biopsy-proven diabetic kidney disease.	BMJ Open Diabetes Research and Care.2021 Aug;9(1):e002241.	Original Article
7	Yamanouchi M,Furuichi K,Kohagura K,et al.	血液浄化療法部	Serum hemoglobin concentration and risk of renal function decline in early stages of diabetic kidney disease:a nationwide,biopsy-based cohort study.	Nephrology Dialysis Transplantation.2022 Feb 25;37(3):489-497.	Original Article
8	Imamura M, Takahashi A, Matsunami M et al.	検査・輸血部	Genome-wide association studies identify two novel loci conferring susceptibility to diabetic retinopathy in Japanese patients with type 2 diabetes.	Human Molecular Genetics, 2021 May 17;30(8): 716-726	Original Article
9	Uechi K, Tohya M, Tada T et al.	検査・輸血部	Emergence of a multidrug-resistant plasmid encoding blaNDM1, blaOXA-420 and armA in a clinical isolate of Acinetobacter variabilis in Japan.	Journal of Medical Microbiology 2021 Aug; 70(8).	Original Article
10	Chinen Y, Kinjyo Y, Mekaru K, et al.	産科婦人科	Critical respiratory failure in pregnancy complicated with COVID-19: A case report.	Case Report in Womens Health. 2021 Apr;30:e00309.	Case report
11	Kinjyo Y, Nana Y, Chinen Y,et al.	産科婦人科	Transabdominal cerclage in early pregnancy for cervical shortening after radical trachelectomy: A case report.	Case Report in Womens Health. 2021 May 20;31:e00323.	Case report

12	Miyagi M, Mearu K, Nakamura R, et al.	産科婦人科	Live birth outcomes from IVF treatments in younger patients with low AMH.	JBRA Assisted Reproduction 2021 Jul 21;25(3):417-421.	Original Article
13	Nagata C, Mearu K, Gibo K, et al.	産科婦人科	Sex ratio of infants born through in vitro fertilization and embryo transfer: Results of a single-institution study and literature review.	JBRA Assisted Reproduction 2021 Jul 21;25(3):337-340.	Original Article
14	Taira Y, Shimoji Y, Nakasone T, et al.	産科婦人科	A high-risk gestational trophoblastic neoplasia derived from a complete hydatidiform mole with coexisting fetus identified by short tandem repeats analysis: A case report.	Case Report in Womens Health 2021 Jun 17;31:e00336.	Case report
15	Oishi S, Mearu K, Nakamura R, et al.	産科婦人科	Two cases of polycystic ovary syndrome with onset of severe ovarian hyperstimulation syndrome following controlled ovarian stimulation with aromatase inhibitors for fertility preservation before breast cancer treatment.	Taiwanese Journal of Obstetrics and Gynecology 2021 Sep;60(5):931-934.	Case report
16	Arakaki Y, Shimoji Y, Nakasone T, et al.	産科婦人科	Hyperbaric Oxygen Therapy for Suburethral Vaginal Mucosal Necrosis after Interstitial Irradiation for Recurrent Cervical Cancer.	Case Reports in Obstetrics and Gynecology. 2021 Sep 9;2021:1737975.	Case report
17	Taira Y, Shimoji Y, Arakaki Y, et al.	産科婦人科	Comprehensive Genomic Profiling for Therapeutic Decision and Identification of Gene Mutation in Uterine Endometrial Dedifferentiated Carcinoma.	Case Reprints in Oncology. 2022 Feb 7;15(1):46-55.	Case report
18	Oishi S, Mearu K, Tanaka SE, et al.	産科婦人科	Microbiome analysis in women with endometriosis: Does a microbiome exist in peritoneal fluid and ovarian cystic fluid?	Reproductive Medicine and Biology. 2022 Jan 29;21(1):e12441.	Original Article
19	Shimpei Gotoh, Edward H Ntege, Toshiyuki Nakasone et al	歯科口腔外科	Mixed tumour of the skin of the lower lip: A case report and review of the literature.	Molecular and clinical oncology. 2022 Mar; 16(3): 69.	Case report
20	Shimpei Gotoh, Toshiyuki Nakasone, Akira Matayoshi et al.	歯科口腔外科	Mucoepidermoid carcinoma of the anterior lingual salivary gland: A rare case report.	Molecular and clinical oncology. 2022 Jan;16(1): 7.	Case report
21	Agena S, Hirakawa H, Ikegami T, et al.	耳鼻咽喉科	Prognostic significance of hypoxia-inducible factor-1 α expression in advanced pharyngeal cancer without human papillomavirus infection	The Journal of Laryngology & Otology. 2021 Jul;135(7):625-633.	Original Article
22	Ikegami T, Kise N, Kinjyo H, et al.	耳鼻咽喉科	Development of Antibodies against HPV-6 and HPV-11 for the Study of Laryngeal Papilloma	Viruses . 2021 Oct 7;13(10):2024.	Original Article
23	Makino W, Heianna J, Ishikawa K, et al.	耳鼻咽喉科	Patterns of recurrence after low-dose postoperative radiotherapy for head and neck squamous cell carcinoma	Journal of the Egyptian National Cancer Institute. 2021 Dec 20;33(1):40.	Original Article
24	Heianna J, Makino W, Hirakawa H, et al.	耳鼻咽喉科	Therapeutic efficacy of intra-arterial docetaxel and nedaplatin infusion concomitant with radiotherapy for T4 maxillary sinus squamous cell carcinoma	International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery. 2021 Dec 24;S0901-5027(21)00427-6.	Original Article

25	Sakiyama H, Hamada S, Hyakuna N, et al.	小児科	High-dose melphalan-based chemotherapy and autologous stem cell transplantation for high-risk osteosarcoma in children: a single-institute experience and review of the literature.	Pediatric Hematology Oncology Journal.2021 Dec;6(4):171-174,	Original Article
26	Hamada S, Uehara T, Miyamoto J, et al.	小児科	Domino donor lymphocyte infusion for secondary poor graft function after HLA-mismatched allogeneic stem cell transplantation between HLA-identical sibling pairs with congenital immunodeficiency.	Pediatr Blood Cancer. 2021 May;68(5):e28851	Case report
27	Yoshida T, Uchihara S, Goya H, et al.	小児科	A giant omphalocele neonate supported by extra-corporeal membrane oxygenation.	Pediatrics International. 2022 Jan;64(1):e14682.	Case report
28	Chinen Y, Nakamura S, Yanagi K, et al.	小児科	Additional findings of tibial dysplasia in a male with orofacioidigital syndrome type XVI	Human Genome Variation. 2022 Mar 31;9(1):9.	Case report
29	Shotaro Nakanishi, Masato Goya, Mitsuyoshi Tamak, et al.	腎泌尿器外科	Three-month early change in prostate-specific antigen levels as a predictive marker for overall survival during hormonal therapy for metastatic hormone-sensitive prostate cancer	BMC Reserch Notes., 2021 Jun 3;14(1):227.	Original Article
30	Shin Koike, Shotaro Nakanishi, Sunao Nohara, et al.	腎泌尿器外科	Large adrenocortical adenoma with malignant features on imaging: A case report	Urology Case Reorts. 2021 Dec 6;41:101968.	Case report
31	Shotaro Nakanishi, Minoru Miyazato, Kei Tanaka, et al.	腎泌尿器外科	Coexisting congenital mid-ureteral stricture and megaureter due to ureterovesical junction obstruction: A case report	Urology Case Reorts. 2021 Oct 5;40:101877.	Case report
32	Aoki Y, Tome Y, Wu NF, et al.	整形外科	Oral-recombinant Methioninase Converts an Osteosarcoma from Docetaxel-resistant to -Sensitive in a Clinically-relevant Patient-derived Orthotopic-xenograft (PDOX) Mouse Model.	Anticancer Research. 2021 Apr;41(4):1745-1751.	Original Article
33	Oshiro H, Tome Y, Miyake K, et al.	整形外科	An mTOR and VEGFR inhibitor combination arrests a doxorubicin resistant lung metastatic osteosarcoma in a PDOX mouse model.	Scientific Reports. 2021 Apr 21;11(1):8583.	Original Article
34	Hashimoto Y, Tome Y, Oshiro H, et al.	整形外科	Reconstruction of the elbow using pedicle joint freezing after wide excision for soft tissue sarcoma: A case report.	Molecular and Clinical Oncology. 2021 Jun;14(6):115.	Case report
35	Oshiro H, Tome Y, Miyake K, et al.	整形外科	Combination of CDK4/6 and mTOR Inhibitors Suppressed Doxorubicin-resistant Osteosarcoma in a Patient-derived Orthotopic Xenograft Mouse Model: A Translatable Strategy for Recalcitrant Disease.	Anticancer Research. 2021 Jul;41(7):3287-3292.Jul	Original Article
36	Aoki Y, Yamamoto J, Tome Y, et al.	整形外科	Over-methylation of Histone H3 Lysines Is a Common Molecular Change Among the Three Major Types of Soft-tissue Sarcoma in Patient-derived Xenograft (PDX) Mouse Models.	Cancer Genomics and Proteomics. 2021 Nov-Dec;18(6):715-721.	Original Article
37	Aoki Y, Tome Y, Han Q, et al.	整形外科	Histone H3 lysine-trimethylation markers are decreased by recombinant methioninase and increased by methotrexate at concentrations which inhibit methionine-addicted osteosarcoma cell proliferation.	Biochemical and Biophysical Reports. 2021 Nov 26;28:101177.	Original Article

38	Aoki Y, Tome Y, Han Q, et al.	整形外科	Oral-recombinant Methioninase Converts an Osteosarcoma from Methotrexate-resistant to -sensitive in a Patient-derived Orthotopic-xenograft (PDOX) Mouse Model.	Anticancer Research. 2022 Feb;42(2):731-737.	Original Article
39	Zamami Y, Shinzato H, Kurihara K, et al.	精神科神経科	Prevalence and profile of depressive mixed state in patients with autism spectrum disorder	Psychiatry Research. 2021 Jun;300:113932.	Original Article
40	Takatsuki M, Hidaka M, Natsuda K, et al.	第一外科	Prevention of delayed gastric emptying after living donor left hepatectomy	Asian Journal of Surgery. 2021 Oct;44(10):1274-1277.	Original Article
41	Takatsuki M, Eguchi S	第一外科	Clinical liver transplant tolerance: Recent topics	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences. 2022 Mar;29(3):369-376.	Review
42	Takatsuki M, Eguchi S, Yamamoto M, et al.	第一外科	The outcomes of thrombotic microangiopathy after liver transplantation: A nationwide survey in Japan	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences. 2022 Feb;29(2):282-292.	Original Article
43	Hibiya K, Iwata H, Kinjo T, et al.	第一内科	Incidence of common infectious diseases in Japan during the COVID-19 pandemic.	PLoS One. 2022 Jan 12;17(1):e0261332.	Original Article
44	Kinjo T, Ito A, Ishii M, et al.	第一内科	National survey of physicians in Japan regarding their use of diagnostic tests for legionellosis	Journal of Infection and Chemotherapy. 2022 Feb;28(2):129-134.	Original Article
45	Kinjo T, Arakaki W, Fujita J.	第一内科	Unilateral digital clubbing in hemiplegia due to a putaminal hemorrhage.	Clinical Case Reports. 2022 Mar 1;10(3):e05519.	Case report
46	Nabeya D, Kishaba T.	第一内科	Paradoxical worsening of nontuberculous mycobacterial disease after the discontinuation of antitumor necrosis factor therapy: A case report	Respiratory Medicine Case Reports. 2022 Feb 2;36:101599.	Case report
47	Hokama A, Nakada Y, Yanagida A, et al.	光学医療診療部	Bloating in a supine position.	Intestinal Research. 2021 Apr;19(2):252-253.	Case report
48	Hokama A, Kishimoto K, Fujita J.	光学医療診療部	Campylobacter enterocolitis: a characteristic shallow and large ulcer on the ileocecal valve.	Chonnam Medical Journal. 2021 May;57(2):156-157.	Case report
49	Hokama A, Arakaki S, Ishino S, et al.	光学医療診療部	Hepatocellular carcinoma in a patient with Crohn's disease.	Cureus. 2021 Jul 22;13(7):e16570.	Case report
50	Hokama A, Ohira T, Fujita J.	光学医療診療部	Anorectal amelanotic melanoma.	GE Portuguese Journal of Gastroenterology. 2021 Sep;28(5):372-373.	Case report

51	Hokama A	光学医療診療部	Clover sign of Crohn's disease.	An open access journal of gastroenterology and hepatology. 2021 Jul 17;5(9):1097-1098.	Case report
52	Hokama A, Chinen H, Fujita J.	光学医療診療部	Tropheryma whipplei: an unusual cause of the accumulation in positron emission tomography.	Clinical Microbiology and Infection. 2021 Sep;27(9):1271-1272.	Case report
53	Hokama A, Fujita J.	光学医療診療部	Features of gastrointestinal amyloidosis	The Lancet Gastroenterol Hepatol. 2021 Dec;6(12):987.	Case report
54	Takeshima E, Hokama A, Fujita J.	光学医療診療部	Pseudomembranous enteritis presenting protein-losing enteropathy	Clinical Gastroenterology and Hepatology. 2021 Dec;19(12):e126-e127.	Case report
55	Hokama A, Yara S, Fujita J.	光学医療診療部	Three Signs of Pneumoperitoneum on a Supine Radiograph	Clinical Gastroenterology and Hepatology. 2022 Mar;20(3):A17.	Case report
56	Hokama A, Oishi Y, Koga E, et al.	光学医療診療部	Paradoxical Reaction to Antitubercular Treatment Causing Colonic Obstruction	Chonnam Medical Journal. 2022 Jan;58(1):52-53.	Case report
57	Hokama A, Fujita J.	光学医療診療部	Response to "Strongyloides stercoralis in Acute Severe Ulcerative Colitis-A Triggering Nuisance or an Opportunistic Bystander?"	Inflammatory Bowel Diseases. 2022 Mar 2;28(3):e38.	Others
58	Hokama A.	光学医療診療部	Megaduodenum in systemic sclerosis	Rheumatology. 2021 Aug 30;keab672.	Case report
59	Koga E, Ashimine S, Iraha A, et al.	光学医療診療部	Rectal Dieulafoy Lesion.	Chonnam Medical Journal. 2022 Jan;58(1):48-49.	Case report
60	Yamazato M, Sakima A, Ishida A, et al.	第三内科	Salt and potassium intake evaluated with spot urine and brief questionnaires in combination with blood pressure control status in hypertensive outpatients in a real-world setting.	Hypertension Research. 2021 Oct;44(10):1316-1325.	Original Article
61	Taira H, Noguchi H, Ueki K, et al.	第三内科	Initiation of dialysis for kidney graft failure: A retrospective single-center cohort study	Therapeutic Apheresis and Dialysis. 2021 Nov 14.	Original Article
62	Zamami R, Kohagura K, Kinjyo K, et al.	第三内科	The Association between Glomerular Diameter and Secondary Focal Segmental Glomerulosclerosis in Chronic Kidney Disease	Kidney and Blood Pressure Research. 2021 Aug;46(4):433-440.	Original Article

63	Ohya Y, Kario K, Itoh H, et al.	第三内科	Statement of the Asian Hypertension Society Network: the Okinawa Declaration on the unity of hypertension societies in Asian countries and regions to overcome hypertension and hypertension-related diseases.	Hypertension Research. 2022 Jan;45(1):1-2.	Original Article
64	Aizawa N, Konishi M, Kitai T, et al.	第三内科	Infrequent use of nighttime dialysis for emergency admission due to worsening heart failure in patients on maintenance hemodialysis.	Therapeutic Apheresis and Dialysis. 2022 Feb;26(1):85-93.	Original Article
65	Ouchi G, Komiya I, Taira S, et al.	第三内科	Triglyceride/low-density-lipoprotein cholesterol ratio is the most valuable predictor for increased small, dense LDL in type 2 diabetes patients.	Lipids in Health and Disease. 2022 Jan 7;21(1):4.	Original Article
66	Ishida, A, Isotani, A, Fujisawa M, et al.	第三内科	Effects of a Low-Salt and High-Potassium Diet on Arterial Stiffness and Left Ventricular Function in Indigenous Papuans.	Journal of the American Heart Association. 2021 Dec 21;10(24):e021789.	Original Article
67	Kise Y, Kuniyoshi Y, Higa S, et al.	第二外科	Open Repair for Patent Ductus Arteriosus Aneurysm in an Adult.	Annals of Vasclar Disease. 2021 Dec; 14(4): 415-418.	Case report
68	Higa S, Nagano T, Ito J, et al.	第二外科	Three Arterial Rupture in a patient with Neurofibromatosis Type I.	Annals of Vascular Disease. 2021 May;14:168-172.	Case report
69	Morichika K, Karube K, Sakihama S, et al	第二内科	The Positivity of Phosphorylated STAT3 Is a Novel Marker for Favorable Prognosis in Germinal Center B-Cell Type of Diffuse Large B-Cell Lymphoma.	The American Journal of Surgical Pathology. 2021 Jun; 45(6): 832-840	Original Article
70	Nakayama Y, Yamaguchi S, Shinzato Y, et al	第二内科	Retrospective exploratory analyses on gender differences in determinants for incidence and progression of diabetic retinopathy in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	Endocrine Journal. 2021 Jun 28; 68(6): 655-669	Original Article
71	Tamaki K, Morishima S, Suzuki S, et al	第二内科	Full-length HLA sequencing in adult T cell leukemia-lymphoma uncovers multiple gene alterations	Leukemia. 2021 Oct; 35(10): 2998-3001	Original Article
72	Millman JF, Okamoto S, Teruya T, et al	第二内科	Extra-virgin olive oil and the gut-brain axis: influence on gut microbiota, mucosal immunity, and cardiometabolic and cognitive health	Nutrition Reviews. 2021 Nov 10; 79(12): 1362-1374	Original Article
73	Nakachi S, Okamoto S, Tamaki K, et al	第二内科	Impact of anti-diabetic sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors on tumor growth of intractable hematological malignancy in humans	Biomedicine & Pharmacotherapy. 2022 Mar 31; 149: 112864	Original Article
74	Nakajima N.	地域・国際医療部	Difficulties in addressing artificial hydration and nutrition therapy for terminal cancer patients: What to do if patients/families' wishes differ from the medically appropriate treatment plans?	American Journal of Hospice and Palliative Medicine. 2021: Dec 24	Original Article

75	Kiyotaka Miyazato, Yohei Hokama, Shogo Ishiuchi et al.	脳神経外科	Combined transmastoid/middle fossa approach for a petrous bone cholesteatoma: A case report and literature review.	Acta Oto-Laryngologica Case Reports.2021 Dec.(オンライン)	Case report
76	Yamaguchi S, Yasumura R, Okamoto Y. et al.	皮膚科	Efficacy and safety of a dimethicone lotion in patients with pyrethroid-resistant head lice in an epidemic area, Okinawa, Japan.	The Journal of Dermatology. 2021 Sep;48(9):1343-1349.	Original Article
77	Shuhei Yonamine, Takuya Omine, Takuya Miyagi. et al.	皮膚科	Myocarditis in a patient with anti-OJ and Th/To autoantibody-positive overlap syndrome First published: 26 May 2021.	Journal of Cutaneous Immunology and Allergy.2021 Oct.4(5):146-148	Case report
78	Hirata Y, Higuchi K, Tamashiro K, et al.	病理部	Application of the Milan System for Reporting Salivary Gland Cytopathology: A 10-Year Experience in a Single Japanese Institution.	Acta Cytologica 65(2): 123-131, 2021. Issue release date: March - April.	Original Article
79	Tsuchiya N, Nagao M, Shiina Y, et al.	放射線科	Circulation derived from 4D flow MRI correlates with right ventricular dysfunction in patients with tetralogy of Fallot.	Scientific Reports. 2021 Jun 2;11(1):11623.	Original Article
80	Maemoto H, Ogura T, Toita T, et al.	放射線科	Small dose of oral gastrografin for computed tomography-based image-guided brachytherapy in patients with uterine cervical cancer.	Journal of Radiation Research. 2022 Jan 63(1):107-114.	Original Article
81	Heianna J, Makino W, Toguchi M, et al.	放射線科	Chemoembolization for Symptomatic Metastatic Epidural Spinal Cord Compression Refractory to Radiotherapy.	CardioVascular and Interventinal Radiology. 2021 Dec 44:1945-1953.	Original Article
82	Makino W, Heianna J, Ishikawa K, et al.	放射線科	Patterns of recurrence after low-dose postoperative radiotherapy for head and neck squamous cell carcinoma.	Journal of the Egyptian National Cancer Institute. 2021 Dec 20;33(1):40.	Original Article
83	To M, Kamizato K, Shinzato H, Kakinohana M.	麻酔科	Anesthetic management of ventricular-peritoneal shunt implantation in osteogenesis imperfecta type IIB: A case report.	Medicine (Baltimore). 2022 Jan 7;101(1):e28483.	Case report
84	Arashiro A, Shinzato H, Kamizato K, et al.	麻酔科	Spinal fusion with motor evoked potential monitoring using remimazolam in Alström syndrome: A case report.	Medicine (Baltimore).2021 Nov 24;100(47):e27990.	Case report
~					

計84件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院(へお)	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Terao N, Koizumi H.	眼科	抗VEGF療法をマスターする:患者への説明と具体的な治療法のポイント解説 加齢黄斑変性(PCVとRAP)	眼科グラフィック 2021 Aug;10(4):382-395	Review
2	Terao N.	眼科	抗VEGF治療セミナー 91. Pachychoroidと抗VEGF治療	あたらしい眼科 2021 Sep;38(9):1075-1076	Review
3	Sawaguchi S, Koizumi H.	眼科	生理機能検査を使いこなす 最近の考え方 眼底自発蛍光	眼科 2021 Sep;63(9): 811-821	Review
4	Koizumi H.	眼科	中心性漿液性脈絡網膜症 病態の新しい考え方	日本の眼科 2022 Mar;93(3):358-359	Review
5	渡部俊陽, 平良祐介, 友寄絵梨佳, 他	産科婦人科	広汎子宮全摘術を行った骨盤リンパ節陽性子宮頸部腺癌の治療成績.	沖縄産科婦人科学会誌 2022 Mar; 44: 5-12.	Original Article
6	上原園美, 金城淑乃, 大木悠司, 他	産科婦人科	当科におけるI型糖尿病合併妊娠の検討.	沖縄産科婦人科学会誌 2022 Mar; 44: 13-19.	Original Article
7	宮里寛奈, 宮城真帆, 宜保敬也, 他	産科婦人科	当院におけるPOI症例の現状と課題.	沖縄産科婦人科学会誌 2022 Mar; 44: 49-53.	Original Article
8	友寄絵梨佳, 仲本朋子, 金城淑乃, 他	産科婦人科	妊娠中に先行化学療法を施行した湿球頸癌の一例 —当科の過去の症例と比較して—	沖縄産科婦人科学会誌 2022 Mar; 44: 123-132.	Case report
9	2)仲村理恵, 山田久子, 下地裕子, 他	産科婦人科	ガートナー嚢胞を合併したアンドロゲン不応症候群の一例.	沖縄産科婦人科学会誌 2022 Mar; 44: 123-132.	Case report
10	Higa T, Ganaha A, Kondou S, et al.	耳鼻咽喉科	癒着性中耳炎に対する一期的人工内耳手術	耳鼻咽喉科臨床. 2021 Dec; 114: 909-916	Original Article
11	Kondo S, Higa T, Oyakawa Y, et al.	耳鼻咽喉科	中耳腔に進展した髄膜腫の2例	耳鼻と臨床. 2021 May; 67: 175-182	Case report
12	Maeda H, Yasuda T, Nakasone W, et al.	耳鼻咽喉科	振子様扁桃像を呈した fibroepithelial polypの1例	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2021 Aug; 93: 744-748	Case report

13	Terukina R, Hiratuka M, Uehara T, et al.	耳鼻咽喉科	眼窩より発生したランゲルハンス細胞組織球症の1例	耳鼻と臨床. 2021 Oct; 67: 329-333	Case report
14	Maeda H.	耳鼻咽喉科	舌根に生じた骨性分離腫の1例	耳鼻咽喉科展望. 2021 Oct; 64: 292-296	Case report
15	Suzuki M.	耳鼻咽喉科	鼻副鼻腔内反性乳頭腫の診断と治療	日本鼻科学会誌. 2021 Apr; 60: 127-130	Review
16	Suzuki M, Hirakawa H.	耳鼻咽喉科	頸部郭清術における副損傷の予防と対応	日本耳鼻咽喉科学会会報. 2021 Jul; 124: 974-981	Review
17	Maeda H.	耳鼻咽喉科	【チャートでみる耳鼻咽喉科診療】症状から診断へ	日本耳鼻咽喉科学会会報. 2021 Sep; 37: 1017-1020	Review
18	Kayou Y, Maeda H, Kinjou H, et al.	耳鼻咽喉科	悪性疾患が疑われたアトピー性皮膚炎由来皮膚病性リンパ節症の1例	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2022 Jan; 94: 93-97	Original Article
19	Higa T, Maeda H, Suzuki M.	耳鼻咽喉科	当科で経験した孤立性線維性腫瘍3例の検討	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2022 Jan; 94: 99-103	Original Article
20	Simabukuro T, Maeda H, Kondou S, et al.	耳鼻咽喉科	両側高度感音性難聴を初発症状とした髄膜癌腫症の1例	耳鼻と臨床. 2022 Jan; 114: 26-31	Original Article
21	Suzuki M, Touyama S, Kayou Y, et al.	耳鼻咽喉科	鼻症状で受診した症例の特異的IgE抗体について 鼻アレルギーを中心とした沖縄県の特徴	耳鼻と臨床. 2022 Mar; 68: 77-82	Original Article
22	Suzuki M, Touyama S, Kayou Y, et al.	耳鼻咽喉科	鼻アレルギー患者の地域特異性 沖縄県の特異的IgE抗体の特徴と鼻アレルギーの動向	耳鼻と臨床. 2022 Mar; 68: 83-89	Original Article
23	仲西大輔, 浜田和弥, 渡久地愛梨ら,	小児科	リシノプリル内服中に急性腎障害をきたした染色体劣性型アルポート症候群の一例.	日本小児腎不全学会雑誌. 2021 Sep. 41: 63-66.	Case report
24	中西浩一	小児科	V. 腎・泌尿器疾患-15 Alport 症候群	小児内科 増刊号2021, 小児疾患診療のための病態生理 2 改訂第6版, 53: 555-560. 2022 Jan.	Review
25	中西浩一	小児科	6) Alport症候群 Alport症候群患者の腎不全進行拍子に有効な治療法はありますか? 腎機能障害進行抑制のため, レニン・アンジオテンシン系阻害薬を投与することを推奨する, AKI~CKD~腎臓病まで	腎臓病診療Q&A. pp230-231, 東京医学社, 東京, 2021 Jun.	Review
26	中西浩一	小児科	特集 腎疾患の移行期医療 多発性嚢胞腎と移行期医療.	腎臓内科, 14(2): 184-191, 2021 Aug.	Review
27	中西浩一	小児科	特集 嚢胞性腎疾患 ARPKD 1) 病態生理と治療.	腎臓内科, 14(5): 560-566, 2021 Sep.	Review

28	中西浩一	小児科	増刊 VII. 腎・泌尿疾患の処方, 2. IgA腎症・紫斑病性腎炎.	小児科臨床 増刊号 私の処方2021/12. 74: 1877-1882, 2021 Dec.	Review
29	山中理菜, 神谷武志, 西川正修 他	整形外科	左大腿骨遠位骨肉腫治療後の脚長差に対して脚延長術を施行した1例	日本創外固定・骨延長 学会雑誌 32 55-60. 2021 Apr	Case report
30	神谷武志, 山中理菜, 西田康太郎	整形外科	Ollier病の下肢変形に対して創外固定器を用いて治療し、成長終了まで経過観察した2例の経験	日本創外固定・骨延長 学会雑誌 32 61-67. 2021 Apr	Case report
31	金城 政樹, 仲宗根 素子, 金城 忠克 他	整形外科	重症手根管症候群に対するCamitz変法の術後成績WALANTと腋窩ブロックにおける比較	日本手外科学会雑誌 37(6) 842-845. 2021 Apr	Original Article
32	大槻 健太, 高江洲 美香, 宮田 佳英 他	整形外科	尺骨茎状突起骨折を伴う橈骨遠位端骨折に対する術中DRUJ不安定性評価の有用性	骨折43(3) 485- 488. 2021 May	Original Article
33	屋比久博己, 西田康太郎, 熊井司	整形外科	【外来で役立つ 足部・足関節の超音波診療】足部・足関節の外来超音波治療	臨床整形外科 56(8) 1069-1075. 2021 Aug	Others
34	今井 さくら, 高江洲 美香, 大槻 健太 他	整形外科	大腿骨頸基部骨折に対する髓内釘と前方支持スクリューを用いた手術成績	骨折 43(4) 959-963. 2021 Aug	Original Article
35	翁長 正道, 仲宗根 哲, 石原昌人 他	整形外科	変形性股関節症における冠状面骨盤傾斜と下肢アライメントの検討	Hip Joint 47(1) 282- 285. 2021 Aug	Original Article
36	石原 昌人, 仲宗根 哲, 翁長正道 他	整形外科	診断に難渋した股関節結核に対して二期的セメントレス人工股関節全置換術を行った1例	Hip Joint 47(1) 302- 306. 2021 Aug	Case report
37	仲宗根 哲, 石原 昌人, 翁長正道 他	整形外科	側臥位THAにおけるデバイス固定のための腸骨スクリュー挿入メカニカルナビゲーションの検討	Hip Joint 47(1) 492- 495. 2021 Aug	Original Article
38	高江洲 美香, 仲宗根 哲, 石原昌人 他	整形外科	高齢者の大腿骨ステム周囲骨折 Vancouver Type B1に対する骨接合術の治療経験	Hip Joint 47(2) 672- 676. 2021 Aug	Original Article
39	大中 敬子, 普天間 朝上, 米田 晋 他	整形外科	Composite graft法施行12日後にgraft on flap法を行った指尖部切断の1例	日本マイクロサージャ リー学会会誌 34(3) 167-171. 2021 Sep	Case report
40	金城英樹, 勢理客ひさし, 比嘉勝一郎 他	整形外科	術後プロレスラーに復帰したC5/6高位神経鞘腫の一例	整形外科と災害外科 70(3) 382-385. 2021 Sep	Case report
41	大中敬子, 普天間朝上, 米田晋 他	整形外科	尺骨遠位端骨折後に前腕回旋障害を来した3例	整形外科と災害外科 70(3) 426-429. 2021 Sep	Case report
42	当真孝, 山口浩, 呉屋五十八 他	整形外科	腱板断裂性肩関節症に対し腱板修復及び大胸筋移行術を併用したリバーズ型肩関節置換術を行った2例	整形外科と災害外科 70(3) 557-561. 2021 Sep	Case report

43	津覇雄一, 山口浩, 当真孝 他	整形外科	変形性肩関節症に対して人工肩関節置換術を施行し8年以上経過した2例	整形外科と災害外科 70(3) 565-569. 2021 Sep	Case report
44	東江拓海, 上原史成, 島袋全志 他	整形外科	野球のプレー中に受傷した距骨脱臼骨折の1例	整形外科と災害外科 70(3) 578-581. 2021 Sep	Case report
45	島袋全志, 新垣和伸, 東江拓海 他	整形外科	DL0の大腿骨Anterior flangeにCCS固定を追加し、早期荷重を行った症例の検討	整形外科と災害外科 70(4): 663-665. 2021 Sep	Original Article
46	山城正一郎, 當銘保則, 大城裕理 他	整形外科	下肢悪性軟部腫瘍に対して片側皮質骨切除後に自家液体窒素処理骨移植を用いて再建した4例	整形外科と災害外科 70(4) 734-737. 2021 Sep	Case report
47	石川樹, 當銘保則, 大城裕理 他	整形外科	当院における骨原発Langerhans cell histiocytosisの検討	整形外科と災害外科 70(4) 765-768. 2021 Sep	Original Article
48	山川慶, 金城英雄, 島袋孝尚 他	大中 敬子, 普天間 朝上, 米田 晋 他	広範囲脊柱管狭窄および黄色靭帯骨化症を合併した軟骨無形成症の1例	整形外科と災害外科 70(4) 813-817. 2021 Sep	Case report
49	大中 敬子, 普天間 朝上, 米田 晋 他	整形外科	肘頭骨折後肘関節拘縮に対し観血的関節授動術を行った1例	日本肘関節学会雑誌 28(2) 90-93. 2021 Nov	Case report
50	翁長 正道, 仲宗根 哲, 石原昌人 他	整形外科	THAにおける適切なステム設置のための大腿骨頸部骨切り面の骨性特徴 テーパーウェッジ型ステムに対する術前計画	日本人工関節学会誌 51 27-28. 2021 Dec	Original Article
51	伊藝 尚弘, 池間 正英, 普天間 朝拓 他	整形外科	人工骨頭・股関節置換術後感染の治療成績	日本人工関節学会誌 51 183-184. 2021 Dec	Original Article
52	高江洲 美香, 宮田 佳英, 仲宗根 哲 他	整形外科	大腿骨ステム周囲骨折に対して超高分子量ポリエチレン繊維テープによる骨接合術を行なった2例	日本人工関節学会誌 51 445-446. 2021 Dec	Case report
53	外間 敦, 玉寄美和, 永山 盛隆 他	整形外科	前側方アプローチ(Mini-oneアプローチ)THAにおける大転子骨折の検討	日本人工関節学会誌 51 461-462. 2021 Dec	Original Article
54	水田 康平, 高江洲 美香, 宮田 佳英 他	整形外科	大腿骨頸基部骨折に対する骨接合術と人工骨頭挿入術の治療成績の検討	骨折 44(1) 71-75. 2022 Jun	Original Article
55	水田 康平, 仲宗根 素子, 高江洲 美香 他	整形外科	Pulseless pink handを伴う小児上腕骨顆上骨折に対し観血的手術を行った1例	整形外科と災害外科 71(1) 36-40. 2022 Mar	Case report
56	伊波 優輝, 我謝 猛次, 大島 洋平 他	整形外科	全身性非定型抗酸菌脊椎炎・関節炎に対して8回の手術を行った1例	整形外科と災害外科 71(1) 74-77. 2022 Mar	Case report
57	当真 孝, 山口浩, 呉屋 五十八 他	整形外科	上腕骨大結節骨折における結節転位が肩関節可動域に与える影響	整形外科と災害外科 71(2) 179-182. 2022 Mar	Original Article

58	橋本 雄太, 山口 浩, 当真 孝 他	整形外科	上腕骨近位端骨折骨接合術後に骨頭壊死を起こした3例	整形外科と災害外科 71(2) 183-186. 2022 Mar	Case report
59	吉川 誉士郎, 大久保 宏貴, 大中 敬子 他	整形外科	橈骨遠位骨端線早期閉鎖後の高度尺骨突き上げ症候群に対して観血的治療を行った1例	整形外科と災害外科 71(2) 193-196. 2022 Mar	Case report
60	翁長 正道, 仲宗根 哲, 石原 昌人 他	整形外科	高度変形を伴うCrowe3脱臼股のTHAに対して実物大立体模型による術前シミュレーションが有用であった1例	整形外科と災害外科 71(2) 209-212. 2022 Mar	Case report
61	山城 正一郎, 仲宗根 哲, 石原 昌人 他	整形外科	Crowe group1の左変形性股関節症に対して大腿骨短縮骨切り併用THAを行った1例	整形外科と災害外科 71(2) 220-223. 2022 Mar	Case report
62	呉屋 五十八, 山口 浩, 当真 孝 他	整形外科	陳旧性肩関節前方脱臼の保存療法	整形外科と災害外科 71(2) 284-288. 2022 Mar	Original Article
63	近藤 毅	精神病態医学講座	背景に神経発達症があれば、いかなる治療的工夫が必要となるか	精神科治療学 2022 Jan;37 (1): 23-28.	Original Article
64	中村陽二、桑原史郎、高槻光寿	第一外科	胃切除空腸パウチ再建後の排出障害に対しパウチ切除が有効であった1例	日本外科系連合学会誌 2021 Apr 46(2): 126-132.	Case report
65	林 裕樹、金城達也、西垣大志、他	第一外科	神経内分泌腫瘍を併存した後腹膜成熟嚢胞性奇形腫の1例	日本消化器外科学会雑誌 2021 Apr 54(4) : 293-301.	Case report
66	知念 徹、金城達也、宮城良浩、他	第一外科	腹腔鏡下に切除した子宮円靱帯平滑筋腫の1例	日本臨床外科学会雑誌 2021 May 82 (5) 972-976.	Case report
67	中村陽二、島袋鮎美、狩俣弘幸	第一外科	原発不明扁平上皮癌胃周囲リンパ節転移に対し腹腔鏡下切除術が有用であった1例	Ryukyu. Med. J., 40(1~4): 25-30. 2021 Oct.	Case report
68	藤田次郎	第一内科	ウイルス肺炎	内科 127;543, 2021 April	Review
69	藤田次郎	第一内科	結核症の基礎知識 (改訂第5版)	結核 96;93-123, 2021 May	Review
70	藤田次郎	第一内科	肺非結核性抗酸菌症の多彩な臨床・病理像-肉芽腫形成の視点から-	結核 96;63-66, 2021 May	Review
71	藤田次郎	第一内科	2. 肺を病変の場とする非HIV免疫再構築症候群-呼吸器感染症を中心に-	日本皮膚科学会雑誌 131;1691-1699, 2021 June	Review
72	藤田次郎	第一内科	肺結核の画像診断のコツ	結核 96;161-167, 2021 Sep	Review

73	兼久梢, 鍋谷大二郎, 金城武士, ほか	第一内科	50%ブドウ糖液による胸膜癒着術を施行した難治性気胸・胸水8症例の報告	呼吸臨床 5;e00140, 2021 Nov	Original Article
74	藤田次郎, 仲村秀太,	第一内科	ウイルス性肺炎	月間 臨床と研究 別冊 98;1333-1339, 2021 Nov	Review
75	金城武士, 平田哲生, 藤田次郎	第一内科	糞線虫症	別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ No. 20;240-244, 2021 Nov	Review
76	藤田次郎	第一内科	肺炎球菌感染症	臨床と微生物 49;19-25, 2022 Jan	Review
77	日比谷健司 藤田次郎	第一内科	非結核性抗酸菌症の病理像からみえる病態	非結核性抗酸菌症 280;683-690, 2022 Feb	Review
78	藤田次郎	第一内科	肺炎・肺膿瘍	内科学 II-356-II-362, 2022 Mar	Others
79	外間昭, 大平哲也, 伊良波淳, ほか	第一内科	Whipple病	別冊日本臨床 呼吸器症候群 (第3版) III;381-384, 2021 Oct	Review
80	又吉 哲太郎, 大屋 祐輔	第三内科	【最新臨床脳卒中学(第2版)上-最新の診断と治療-】危険因子 高血圧 高血圧治療ガイドライン2019	日本臨床 (0047-1852)80巻増刊1 最新臨床脳卒中学(上) Page216-220. 2022 Jan.	Others
81	山城 貴之, 崎間 洋邦, 神崎 佑佳, 他	第三内科	脳梗塞再発を繰り返した原発性中枢神経系血管炎の一例	沖縄医学会雑誌(0911-5897). 2021 Aug;59巻4号 Page26-29	Case report
82	又吉 哲太郎, 大屋 祐輔	第三内科	【高齢者外来診療のトレンドと対策】高齢者に多い疾患とその外来診療 高血圧	臨床と研究 (0021-4965). 2021 Apr;98巻4号 Page403-407	Others
83	崎間 洋邦	第三内科	【最新臨床脳卒中学(第2版)下-最新の診断と治療-】その他の脳血管障害と類縁疾患 高血圧性脳症	日本臨床 (0047-1852). 2022. Feb;80巻増刊2 最新臨床脳卒中学(下) Page435-439	Others
84	崎間 洋邦	第三内科	高血圧性脳症	脳卒中治療ガイドライン2021/2021 Jul; page232 協和企画	Others
85	仲村 武裕, 山城 清人, 上原 盛幸, 他	第二内科	沖縄県久米島デジタルヘルスプロジェクト IoTとAIによる体重減少・HbA1c改善効果	日本内分泌学会雑誌. 2021 Apr; 97(1): 276	Case report
86	岡本 士毅, 島袋 充生, 益崎 裕章	第二内科	玄米機能成分γ-オリザノールによるアルコール依存軽減の新規脳内メカニズム	日本内分泌学会雑誌. 2021 Apr.; 97(1): 288	Case report
87	仲地 佐和子, 岡本 士毅, 野村 育美, 他	第二内科	グルコース要求性が高い難治性血液腫瘍に対する糖代謝制御を介するSGLT2阻害剤の新たな治療的意義	日本内分泌学会雑誌. 2021 Apr; 97(1): 319	Case report

88	玉城 敦子, 中山 良朗, 久高 将太, 他	第二内科	琉球大学病院における免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) による劇症1型糖尿病発症例と1型糖尿病発症例の考察	日本内分泌学会雑誌. 2021 Apr; 97(1): 323	Case report
89	中山 良朗, 玉城 敦子, 久高 将太, 他	第二内科	日本人2型糖尿病 (T2DM) 患者における糖尿病性網膜症 (DR) リスク因子の性差	日本内分泌学会雑誌. 2021 Apr; 97(1): 325	Case report
90	屋比久 賢光, 中山 良朗, 本間 健一郎, 他	第二内科	若年発症の子宮体がんを併発した高度肥満症の一例	日本内分泌学会雑誌. 2021 Apr; 97(1): 332	Case report
91	本間 健一郎, 上原 盛幸, 玉城 敦子, 他	第二内科	サルコイドーシスを合併したサブクリニカルクッシング症候群 (SCS) の一例	日本内分泌学会雑誌. 2021 Apr; 97(1): 341	Case report
92	益崎 裕章, 本間 健一郎, 照屋 太輝	第二内科	【心腎連関から考える2型糖尿病の治療戦略～SGLT2阻害薬を中心に～】高尿酸血症と心腎連関	月刊糖尿病. 2021 May; 13(5): 60-67	Original Article
93	益崎 裕章, 照屋 太輝, ジャスミン F. ミルマン, 他	第二内科	【最近の糖尿病治療薬の展望】運動療法のサイエンス・エビデンス・プラクティス	カレントセラピー. 2021 May; 39(5): 456-461	Original Article
94	仲村 武裕, 山城 清人, 上原 盛幸, 他	第二内科	沖縄県久米島デジタルヘルスプロジェクト IoTとAIによる体重減少・HbA1c改善効果	糖尿病. 2021 Apr; 64(1): I-46-4	Case report
95	新里 幸子, 中山 良朗, 玉城 敦子, 他	第二内科	糖尿病の治療中断が日本人非高齢2型糖尿病患者の糖尿病性網膜症 (DR) に与えるインパクト	糖尿病. 2021 5; 64(1): III-113-5	Case report
96	中山 良朗, 新里 幸子, 玉城 敦子, 他	第二内科	日本人2型糖尿病患者における糖尿病性網膜症の発症、増悪に関連する因子の性差	糖尿病. 2021 Apr; 64(1): III-113-6	Case report
97	本間 健一郎, 屋比久 賢光, 照屋 太輝, 他	第二内科	アンドロゲン産生卵巣腫瘍により閉経後の男性化をきたした69歳女性	糖尿病. 2021 Apr; 64(1): P-21-3	Case report
98	玉城 敦子, 久高 将太, 照屋 理子, 他	第二内科	琉球大学病院における免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) による劇症1型糖尿病発症例と1型糖尿病発症例の考察	日本内分泌学会雑誌. 2021 Jul; 97: 56-58	Case report
99	本間 健一郎, 益崎 裕章	第二内科	【糖尿病診療のピットフォール～二次性糖尿病の診断と治療～】抗精神病薬と糖尿病	月刊糖尿病. 2021 Aug; 13(8): 63-69	Original Article
100	益崎 裕章	第二内科	体質医学からみたこれからの先制医療 脳腸連関と生活習慣病	日本体質医学会雑誌. 2021 Aug; 83(3): 145	Case report
101	益崎 裕章	第二内科	行動変容の科学と新たな糖尿病診療のアプローチ 沖縄県久米島デジタルヘルスプロジェクトの取り組み	日本糖尿病インフォマティクス学会年次学術集会プログラム・抄録集. 2021 Aug; 21: 41	Case report
102	岡本 士毅	第二内科	【総説企画】エネルギー収支に関わる脳機能の新展開—今こそ脳が司る体重制御機構を上手く利用する—	肥満研究. 2021; 27(1): 5-6	Others

103	中山 良朗, 益崎 裕章	第二内科	【薬の特徴・処方のポイント・インスリンポンプ療法がわかる!糖尿病のくすり徹底ナビゲートBOOK】(第4章)糖尿病合併症・関連疾患の治療薬 脂質異常症	糖尿病ケア. 2021 Sep; 2021秋季増刊: 211-219	Original Article
104	益崎 裕章	第二内科	肥満脳の分子病態解明と臨床応用 沖縄クライシスからの学びと展望	日本臨床内科医会誌. 2021 Sep; 36(3): s34	Case report
105	益崎 裕章, 上間 次己, 岡本土毅	第二内科	【高齢者肥満症と循環器疾患】運動と食事に関する分子医学	循環器内科. 2021 Sep; 90(3): 270-276	Original Article
106	益崎 裕章, 根本 雄飛, 照屋 太輝, 他	第二内科	加齢に伴う摂食低下のメカニズム	老年内科. 2021 Sep; 4(3): 276-281	Original Article
107	益崎 裕章	第二内科	【内分泌疾患・糖尿病・代謝疾患-診療のエッセンス】(I章)内分泌疾患 主要症候からのアプローチ 体重減少	日本医師会雑誌. 2021 Oct; 150(特別2): S35-S37	Original Article
108	仲村 武裕, 益崎 裕章	第二内科	【糖尿病診療における臨床検査】糖尿病成因と病態にかかわる検査 インスリン抵抗性	月刊糖尿病. 2021 Oct; 13(10): 11-18	Original Article
109	益崎 裕章	第二内科	運動と食事とホルモンを繋ぐ分子医学	日本内分泌学会雑誌. 2021 Oct; 97(2): 473	Original Article
110	益崎 裕章, 上間 次己, 仲村 武裕, 他	第二内科	【糖尿病性腎臓病(DKD)】DKDの治療 AI・IoT活用による肥満症予防とDKD 沖縄県久米島デジタルヘルスプロジェクトの試み	腎と透析. 2021 Oct; 91(4): 737-742	Original Article
111	益崎 裕章, 岡本土毅	第二内科	人生100年時代の健康脳を創る 脳科学・分子栄養学からの学び	麻酔. 2021 Nov; 70: S138-S148	Original Article
112	岡本土毅, 益崎 裕章	第二内科	アルコール依存症の予防・改善に貢献する玄米機能成分 脳報酬系に対する γ -オリザノールの新しい作用機構の解明	医と食. 2021 Dec; 13(6): 65-68	Original Article
113	伊藤 誠, 山口 さやか, 皆川 智子, 他	皮膚科	小児の難治性アタマジラミ症におけるピレスロイド抵抗性の獲得	日本小児皮膚科学会雑誌 2021年 6月	Original Article
114	松尾 雄司, 内海 大介, 荻谷 嘉之, 他	皮膚科	右大腿部に生じた進行性アポクリン腺癌の1例.	皮膚科の臨床 2021年 11月	Case report
115	岩元 凜々子, 山口 さやか, 荻谷 嘉之, 他	皮膚科	武乳児線維性過誤腫の1例.	日本小児皮膚科学会雑誌 2021年 6月	Case report
116	岩元 凜々子, 大平 葵, 荻谷 嘉之, 他	皮膚科	小児の足背に生じた皮下型環状肉芽腫の1例.	日本小児皮膚科学会雑誌 2021年 6月	Case report
117	新城 愛, 與那嶺 周平, 荻谷 嘉之, 他	皮膚科	【脱毛症】病理検査とトリコスコピーが診断に有効であった小児の脱毛症.	皮膚病診療2021年 10月	Original Article

118	與那嶺 周平, 宮城 拓也, 新 城 愛 他	皮膚科	血疱を伴う紫斑から診断した成人T細胞白血病・リンパ腫急性型の1例.	西日本皮膚科2021年8月	Case report
119	Tsuchiya N, Miyagi K, Fujita J, et al.	放射線科	石灰化を伴った腸型肺腺癌の1例.	肺癌. 2021 Dec 61:979-984	Case report
120	Tsuchiya N.	放射線科	押さえておくべき注目の疾患2021:新型コロナウイルス感染症.	画像診断. 2021 Apr 41(5):416-418.	Review
121	Tsuchiya N.	放射線科	押さえておくべき注目の疾患2021:進行性線維化を伴う間質性肺疾患.	画像診断. 2021 Apr 41(5):419-421.	Review
122	Tsuchiya N, Ishigami K, Kinjyo H, et al.	放射線科	ガーゼ遺残の画像診断.	臨床画像 2021 Apr 37(4):520-526.	Review
123	Azama K, Yogi A.	放射線科	脊髄長大病変-視神経脊髄炎関連疾患, HTLV-1 関連脊髄症と脊髄硬膜動静脈瘻-.	臨床放射線. 2021 Oct 66 (11):1271-1278.	Review
124	野口信弘, 垣 花学,	麻酔科	麻酔関連合併症 (PONV、嘔声、シバリング、術後痛)の発生頻度の推移 合併症発生率調査の効果	麻酔 2021 Oct;1054- 1058.	Case report
~					

計124件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 倫理審査委員会の役割・責務、意見の表示及び通知、迅速審査等に係る規程	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 目的、利益相反マネジメント委員会の設置、利益相反アドバイザー・利益相反カウンセラーの設置、利益相反マネジメントの手続き、外部からの指摘への対応、秘密の保持 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 指針統合の概要、審査ポイント、研究倫理と研究デザインなど	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本院の「病める人の立場に立った質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。」という理念のもとに、各診療科において専門的な分野の症例等に対する知識や技術、関連学会が定める専門医の資格取得に関する研修及び教育を実施している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	423人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
藤田 次郎	第一内科	教授	41年	
健山 正男	第一内科	准教授	37年	
外間 昭	第一内科	准教授	36年	
前城 達次	第一内科	講師	26年	
益崎 裕章	第二内科	教授	30年	
森島 聡子	第二内科	准教授	27年	
土井 基嗣	第二内科	助教	14年	
岩淵 成志	第三内科	教授代行	36年	
石田 明夫	第三内科	准教授	29年	
山里 正演	第三内科	講師	28年	
崎間 洋邦	第三内科	講師	19年	
池宮城 秀一	第三内科	助教	19年	
當間 裕一郎	第三内科	助教	18年	
高槻 光寿	第一外科	教授	27年	
金城 達也	第一外科	講師	22年	
野村 寛徳	第一外科	助教	24年	
大野 慎一郎	第一外科	助教	18年	
古川 浩二郎	第二外科	教授	34年	
石内 勝吾	脳神経外科	教授	37年	
西田 康太朗	整形外科	教授	30年	
當銘 保則	整形外科	准教授	21年	
神谷 武士	整形外科	病院講師	24年	
東 千夏	整形外科	病院講師	23年	
仲宗根 哲	整形外科	病院講師	23年	
金城 政樹	整形外科	診療講師	25年	
大久保 宏貴	整形外科	助教	21年	
島袋 孝尚	整形外科	助教	20年	
仲宗根 素子	整形外科	助教	20年	

青木 洋一	産科婦人科	教授	38年
銘苅 桂子	産科婦人科	教授	23年
金城 忠嗣	産科婦人科	講師	22年
中西 浩一	小児科	教授	33年
知念 安紹	小児科	准教授	30年
吉田 朝秀	小児科	講師	26年
浜田 聡	小児科	講師	25年
金城 紀子	小児科	助教	35年
仲村 貞郎	小児科	病院助教	18年
高橋 健造	皮膚科	教授	36年
山口 さやか	皮膚科	講師	18年
宮城 拓也	皮膚科	助教	15年
林 健太郎	皮膚科	助教	15年
齋藤 誠一	腎泌尿器外科	教授	38年
中西 昌太郎	腎泌尿器外科	助教	17年
木村 隆	腎泌尿器外科	助教	16年
鈴木 幹男	耳鼻咽喉科	教授	36年
古泉 英貴	眼科	教授	24年
新垣 淑邦	眼科	診療講師	23年
山内 遵秀	眼科	診療講師	19年
近藤 毅	精神科神経科	教授	39年
西江 昭弘	放射線科	教授	27年
垣花 学	麻酔科	教授	31年
中村 博幸	歯科口腔外科	教授	28年
和田 直樹	病理診断科	教授	19年
梅村 武寛	救急科	教授	34年
古波蔵 健太郎	血液浄化療法部	准教授	29年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容【看護師特定行為研修】

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9名
創部ドレーン管理関連	1名
動脈血液ガス分析関連	2名
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	3名
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	2名
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	9名
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	1名
領域別パッケージ研修「救急領域」	1名

・研修の期間・実施回数 令和3年4月1日 ～ 令和4年3月25日

・研修の参加人数 16人（延べ28人）

・研修の主な内容：言語聴覚士、検査技師によるリハビリテーション、検査手技の研修

・研修の期間・実施回数：令和3年10月25日～29日 1回（5日間）

・研修の参加人数：1名

・研修の主な内容 感染管理認定看護師育成のための講義 感染症学各論：疥癬

・研修の期間・実施回数 7月19日 14:50-16:20

・研修の参加人数 21名

・研修の主な内容 感染管理認定看護師育成のための講義 感染症概論

・研修の期間・実施回数 7月5日 14:50-16:20

・研修の参加人数 25名

・研修の主な内容 看護師の特定行為研修：皮膚とリンパ節

・研修の期間・実施回数 1日・1回

・研修の参加人数 10名

・研修の主な内容：放射線安全講習会；放射線の安全な取り扱いについて

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数：電子カルテ研修システムによるe-learning ・研修の参加人数：約900人
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 腹膜透析患者の看護 ・研修の期間・実施回数 2021年4/1～2022年3/31 ・研修の参加人数 10人
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 生命維持管理装置 医療機器 資料添付 ・研修の期間・実施回数 2021/4/1～2022/3/31 104回 ・研修の参加人数 889名 <p>別紙資料添付</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定行為研修（看護師に対して） ・研修の期間・実施回数：2回 ・研修の参加人数：約10人
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の安全使用に関する研修 ・研修の期間・実施回数：新人技師やそのモダリティを初めて担当する前にその都度実施 ・研修の参加人数：新人技師と初めて担当する技師
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

令和3年度 医療機器安全管理における研修計画と実績

	機器分類	原理・取扱 保守点検・安全性 新規導入	研修・講習会内容	座学・実技	場 所	対 象	月 日	時 間	人数	講 師	必須 任意
1	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	RI装置機器取扱い研修	実技	RI室	診療放射線技師	4月1日	8:30～17:15	1	宮里 吉一 (放射線部)	必須
2	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療装置 CLINAC iXの 仕組み取扱いについて	実技	高エネ第1治療室	診療放射線技師	4月1日	8:30～17:15	1	宮里 孝 (放射線部)	必須
3	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Redixactの仕組み 取扱いについて	実技	高エネ第2治療室	診療放射線技師	4月1日	8:30～17:15	1	伊波 鑑 (放射線部)	必須
4	MRI検査装置	原理・取扱 保守点検・安全性	2021年度採用新人看護師 MRI安全管理研修	座学	おきなわクリニカル シミュレーションセンター	新人看護師	4月1日	16:00～16:40	40	山内 昌敏 (放射線部)	必須
5	人工呼吸器	取扱・新規導入	新規導入 人工呼吸器 V300研修会①	座学・実技	8階病棟 ナースステーション	看護師	4月8日	14:00～14:35	8	西山 毅・西村 公彦 (臨床工学室)	必須
6	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会①	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月19日	9:15～10:15	6	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
7	人工呼吸器	取扱・新規導入	infinity V-600	実技	ICU器材庫	看護師	4月19日～4月23日 9:40～10:00		26	照屋 保 (沖縄メディカルサポート)	必須
8	人工呼吸器	取扱・新規導入	C-6インテリカフ・H-900 (加温加湿器)	実技	ICU器材庫	看護師	4月19日～4月23日 9:30～9:40		26	伊波 行斗 (日本光電)	必須
9	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会②	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月19日	17:15～18:15	3	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
10	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会③	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月21日	17:15～18:15	6	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
11	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会④	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月22日	17:15～18:15	2	迎里 陶一郎 (臨床工学室)	必須
12	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑤	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月23日	9:15～10:15	5	雨田 立諭・迎里 陶一郎 (臨床工学室)	必須
13	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑥	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月23日	17:15～18:15	2	迎里 陶一郎 (臨床工学室)	必須
14	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	診療用放射線照射装置の 仕組み、取扱いについて①	実技	高エネリモートアフター ローディング室	診療放射線技師	4月26日	8:30～17:15	1	嶺井 靖 (放射線部)	必須
15	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑦	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月26日	9:15～10:15	19	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須

16	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑧	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月26日	17:15～18:15	16	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
17	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑨	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月27日	17:15～18:15	19	福井 雅章・西村 公彦 (臨床工学室)	必須
18	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑩	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月28日	9:15～10:15	19	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
19	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑪	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月28日	17:15～18:15	15	雨田 立諭・西村 公彦 (臨床工学室)	必須
20	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑫	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月30日	9:15～10:15	17	雨田 立諭・迎里 陶一郎 西村 公彦 (臨床工学室)	必須
21	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑬	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	4月30日	17:15～18:15	19	雨田 立諭・福井 雅章 西村 公彦 (臨床工学室)	必須
22	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器BabylogVN600の 使用方法	座学	NICU ナースステーション	看護師	5月12日	11:00～11:15	5	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
23	輸液ポンプ シリンジポンプ	原理・取扱 安全性	NICU新人看護師向け講習会 「輸液・シリンジポンプ」①	座学・実技	NICU	新人看護師 (新規配属)	5月13日	14:00～14:25	2	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
24	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑭	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月14日	9:15～10:15	5	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
25	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑮	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月14日	17:15～18:15	1	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
26	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑯	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月17日	9:15～10:17	7	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
27	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑰	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月17日	17:15～18:15	5	雨田 立諭・西村 公彦 (臨床工学室)	必須
28	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	造影剤副作用シミュレーション (DVD研修)	座学	CT検査室	診療放射線技師	5月18日	17:30～19:00	7	久高 亮 (放射線部)	必須
29	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑱	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月19日	9:15～10:15	7	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
30	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑲	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月19日	17:15～18:15	5	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
31	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑳	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月20日	9:15～10:15	3	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
32	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会㉑	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月20日	17:15～18:15	5	福井 雅章 (臨床工学室)	必須

33	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会⑳	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月21日	9:15～10:15	9	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
34	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会㉑	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月21日	17:15～18:15	5	迎里 陶一郎・西村 公彦 (臨床工学室)	必須
35	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修会㉒	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月24日	9:15～10:15	12	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
36	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉓	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月24日	17:15～18:15	6	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
37	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉔	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月25日	17:15～18:15	9	雨田 立諭・迎里 陶一郎 (臨床工学室)	必須
38	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉕	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月26日	9:15～10:15	15	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
39	保育器	原理・取扱 安全性	NICU新人看護師向け講習会 「保育器」㉖	座学・実技	NICU	新人看護師 (新規配属)	5月26日	11:00～11:25	2	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
40	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉗	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月26日	17:15～18:15	14	福井 雅章・西村 公彦 (臨床工学室)	必須
41	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉘	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月27日	9:15～10:15	16	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
42	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉙	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月27日	17:15～18:15	13	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
43	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉚	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月28日	9:15～10:15	9	福井 雅章・西村 公彦 (臨床工学室)	必須
44	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	ER 新人看護師向け講習会 EvitaV300	座学・実技	救急部	看護師	5月28日	15:00～15:30	4	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
45	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉛	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月28日	17:15～18:15	15	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
46	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉜	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月31日	9:15～10:15	12	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)	必須
47	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉝	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	5月31日	17:15～18:15	10	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
48	放射線装置	原理・取扱 安全性・新規導入	MRI装置機器取扱い研修	実技	MRI室 3ROOM	診療放射線技師	6月1日	8:30～17:15	2	呉屋 克典 (放射線部)	必須
49	放射線装置	原理・取扱 安全性・新規導入	Radixactの仕組み 取扱いについて	実技	高エネ第2治療室	診療放射線技師	6月7日	8:30～17:15	1	宮城 孝 (放射線部)	必須

50	放射線装置	原理・取扱 安全性・新規導入	放射線治療装置 CLINAC iX の仕組み、取扱いについて	実技	高エネ第1治療室	診療放射線技師	6月7日	8:30~17:15	1	伊波 鑑 (放射線部)	必須
51	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修⑳	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月9日	9:15~10:15	9	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
52	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉑	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月9日	17:15~18:15	5	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
53	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉒	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月10日	9:15~10:15	8	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
54	保育器	原理・取扱 安全性	NICU新人看護師向け講習会 「SiPAP・ネーザルハイフロー」㉓	座学・実技	NICU	新人看護師 (新規配属)	6月10日	14:00~14:30	2	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
55	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉔	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月10日	17:15~18:15	2	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
56	MRI検査装置	原理・取扱 安全性・新規導入	放射線科看護師対象 MRI安全管理研修	座学	MRI検査室	看護師	6月11日	17:00~17:45	7	山内 昌敏 (放射線部)	必須
57	その他	原理・取扱 安全性	ME機器研修会	座学・実技	ME機器センター	新人臨床工学技士	6月12日	13:30~17:30	3	南西医療機器株式会社	必須
58	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉕	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月14日	9:15~10:15	7	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
59	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉖	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月14日	17:15~18:15	5	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
60	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉗	座学・実技	ME機器センター	看護師	6月15日	9:15~10:15	8	雨田 立諭・迎里 陶一郎 (臨床工学室)	必須
61	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉘	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月15日	17:15~18:15	7	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
62	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉙	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月16日	9:15~10:15	8	西村 公彦 (臨床工学室)	必須
63	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉚	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月17日	9:15~10:15	9	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
64	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉛	座学・実技	ME機器センター	看護師	6月17日	17:15~18:15	1	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
65	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉜	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月18日	9:15~10:15	10	福井 雅章・迎里 陶一郎 (臨床工学室)	必須
66	人工呼吸器	原理・取扱 安全性・新規導入	人工呼吸器EvitaV300 看護師向け研修㉝	座学・実技	看護部 カンファレンス室	看護師	6月18日	17:15~18:15	7	雨田 立諭・迎里 陶一郎 (臨床工学室)	必須

67	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Avant Fit 1.5Tの取扱い 安全講習	実技	MRI検査室	診療放射線技師	6月23日	20:00～20:30	7	川端 貴寛	必須
68	その他	取扱・安全性	看護助手向け講習会 「ME機器の取り扱い」	座学	5階看護部会議室	看護助手	6月24日	14:00～15:00	22	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
69	輸液ポンプ	原理・取扱 保守点検・安全性	JMS輸液ポンプ ME研修会	実技	ME機器センター	新人 臨床工学技士	6月26日	9:30～12:30	7	與座 武志 (株式会社ジェイ・エム・エス)	必須
70	輸液ポンプ シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース研修 「ME機器の特徴と取扱い」	座学・実技	おきなわクリニカル シミュレーションセンター	新人看護師	6月30日	14:00～15:30	53	JMS・ITI・TERUMO 両田・福井・迎里(臨床工学室)	必須
71	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Avant Fit 1.5Tの 取扱い講習	実技	MRI検査室	診療放射線技師	6月28日～7月2日 13:00～		2	金田 貴彦	必須
72	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	診療用放射線照射装置の 仕組み、取扱いについて②	実技	高エネルギーモーター ローディング室	診療放射線技師	7月9日	8:30～17:15	1	源河 克之 (放射線部)	必須
73	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	診療用放射線照射装置の 仕組み、取扱いについて③	実技	高エネルギーモーター ローディング室	診療放射線技師	8月2日	8:30～17:15	1	伊波 鑑 (放射線部)	必須
74	人工呼吸器	原理・取扱 安全・新規導入	SiPAP後続機「ファビアンNIV」の 取扱いについて①	座学	NICU	看護師	8月10日	11:00～11:30	7	橋本 和幸 (エア・ウォーター株式会社)	必須
75	人工呼吸器	原理・取扱 安全・新規導入	SiPAP後続機「ファビアンNIV」の 取扱いについて②	座学	ME機器センター	臨床工学技士	8月13日	11:00～12:00	3	橋本 和幸 (エア・ウォーター株式会社)	必須
76	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	診療用放射線照射装置の 仕組み、取扱いについて④	実技	高エネルギーモーター ローディング室	診療放射線技師	8月16日	8:30～17:15	1	宮里 孝 (放射線部)	必須
77	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Radixactの仕組み 取扱いについて	実技	高エネ第2治療室	診療放射線技師	8月18日	8:30～17:15	1	伊波 鑑 (放射線部)	必須
78	輸液ポンプ シリンジポンプ	原理・取扱 保守点検	メンテナンス講習会 ～輸液ポンプTE261シリンジポンプTE-35型～	座学・実技	ME機器センター	臨床工学技士	8月21日	9:00～17:00	8	山田 (テルモ株式会社)	必須
79	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療装置 CLINAC iX の仕組み、取扱いについて	実技	高エネ第1治療室	診療放射線技師	8月30日	8:30～17:15	1	源河 克之 (放射線部)	必須
80	電気メス	原理・取扱 安全性	電気メス講習会 (取り扱い・注意点)	座学・実技	手術室(8Room)	新人看護師	9月1日	16:30～17:15	2	具志堅 興治・安富 翔 (臨床工学室)	必須
81	超音波診断装置	原理・取扱 新規導入	新規導入 超音波エコー研修会(UF-890AG)	座学・実技	ME機器センター	臨床工学技士	9月27日	14:30～15:30	6	一門 (フクダ電子)	必須
82	超音波診断装置	原理・取扱 安全・新規導入	Philips Affiniti5 (超音波診断装置)	座学・実技	ME機器センター	臨床工学技士	10月4日	15:00～16:00	4	岡田 三徳 (株式会社フィリップス・ジャパン)	必須
83	血液浄化装置	原理・取扱 安全性	急性血液浄化入門編 (Web講習)	座学	集中治療部	看護師	10月19日	17:00～17:35	19	平山 千佳 (臨床工学室)	必須

84	血液浄化装置	取扱	TR-2020 PEについて	座学・実技	血液浄化療法部	臨床工学技士	10月21日	16:00～16:30	6	水野 裕介 (東レ・メディカル株式会社)	必須
85	血液浄化装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CHDFのトラブルシューティング (Web講習)	座学	集中治療部	看護師	11月18日	17:00～18:00	15	平山 千佳 (臨床工学室)	必須
86	人工呼吸器・輸液 シリンジポンプ・保育器 PCPS・除細動器	原理・取扱 保守点検	中途向け勉強会 ～ME機器について～	座学	ME機器センター	看護師 (中途採用)	11月29日	16:00～17:00	1	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
87	その他	原理・取扱 新規導入	サーモガードシステム ZOOM講習会	座学		看護師 臨床工学技士	11月30日	17:00～17:30	14	平山 千佳 (臨床工学室)	必須
88	AED	原理・取扱 安全性	AED －使用方法と留意点－	座学	ME機器センター	外来看護師	11月30日	17:00～17:40	15	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
89	人工心肺装置及び 補助循環装置	原理・安全性	人工呼吸器管理・ECMO講習会 プログラム	座学・実技	沖縄県中部合同庁舎	臨床工学技士	12月4日	9:30～17:15	2	ECMOnet	必須
90	モニタリ装置	原理・取扱 新規導入	Masimo O3 Regional Oximetry Radius PPG 機器 説明会	座学	ME機器センター	臨床工学技士	12月9日	10:20～11:00	4	石村 聖司 (マシモジャパン株式会社)	必須
91	その他	原理・取扱 安全性	トウエンティワンレサシエータ (蘇生バック)	座学	6階西病棟	看護師	12月20日	15:30～16:10	8	前島 邦鋭 (ジエムメディカル株式会社)	必須
92	除細動器	原理・取扱	除細動器の使用方法について	座学	血液浄化療法部	看護師 臨床工学技士	12月22日	10:30～11:00	11	上間 貴志 (臨床工学室)	必須
93	除細動器	原理・取扱	除細動器の取り扱いと注意点	実技	救急部	新人看護師	12月24日	10:15～11:00	3	迎里 陶一郎 (臨床工学室)	必須
94	除細動器	原理・取扱	除細動器の取扱い	座学・実技	手術部	看護師 (中途・復職)	12月24日	16:00～17:00	4	安富 翔 (臨床工学室)	必須
95	除細動器	原理・取扱	除細動器の取り扱いと注意点	実技	ME機器センター	臨床工学技士	12月28日	10:00～11:00	6	雨田 立諭 (臨床工学室)	必須
96	除細動器	原理・取扱	除細動器の取り扱いと注意点	実技	内視鏡室	看護師	12月28日	15:00～16:00	4	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
97	人工呼吸器・輸液 シリンジポンプ・保育器 PCPS・除細動器	原理・取扱 保守点検	復職者向け勉強会 ～ME機器について～	座学	ME機器センター	看護師 (復職者)	12月28日	13:00～14:00	32	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
98	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT影装置操作・取扱研修	座学・実技	CT検査室(2) 7Room	診療放射線技師	1月18日 ～ 1月20日		10	中野 翔太 (Canonアプリケーション)	必須
99	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT影装置操作・取扱研修	座学・実技	CT検査室(1) 6Room	診療放射線技師	2月1日 ～ 2月2日		10	中野 翔太 (Canonアプリケーション)	必須
100	人工呼吸器	取扱	ネーザルハイフローの組立・使用方法	座学	10階東病棟	看護師	2月4日	15:30～16:10	8	福井 雅章・青野 豊 安里 康朗 (臨床工学室)	必須

101	人工呼吸器	取扱・新規導入	人工呼吸器NKV-330 導入講習会(NPPV)	実技	ICU	看護師	1月12日～2月10日 9:00～		24	平山千佳・井出圭祐 (臨床工学室)	必須
102	フットポンプ	原理・取扱	DVT勉強会	座学	ME機器センター	臨床工学技士	3月4日	14:30～15:00	2	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
103	AED	原理・取扱	AED勉強会	座学	ME機器センター	臨床工学技士	3月4日	15:30～16:00	2	福井 雅章 (臨床工学室)	必須
104	人工呼吸器	原理・取扱	人工呼吸器 Prisma VENT50-C	座学	ME機器センター	臨床工学技士	3月15日	16:00～16:20	6	大城 仁昭 (南西医療器)	必須
								受講者合計	889		

令和3年度 看護部院内研修実施内容一覧

(1) クリニカル・ラダーレベルⅠ 対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
新規採用者オリエンテーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院の理念と基本方針 2. 医療安全の基本 当院の医療に係る安全管理のための指針 3. 医療機器安全管理 4. 感染対策の基本 5. 医薬品安全管理の基本 6. 診療用放射線に係る安全研修 7. MRI 検査の注意点 8. 損害保険について 9. 勤務時間・休暇等 10. 給与支給・諸手当・社会保険等 11. 学部内交通対策 12. 諸手続き 	4月1日 (8時間)	49
看護部新規採用者オリエンテーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人としての心構え 2. 看護部組織の一員及び専門職としての心構えと役割 <ul style="list-style-type: none"> ・病院・看護部の組織について ・看護部の理念と基本方針について 3. 看護体制 <ul style="list-style-type: none"> ・PNS 4. 服装基準と身だしなみ 5. 看護の安全 <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントについて ・5Rの確認 ・インシデント対応 6. 看護記録基準と看護記録について 7. 看護師長、専門・認定看護師、専従看護師紹介 	4月2日 (8時間)	49
看護部運営方針	令和3年度看護部長方針について	4月2日 (1時間)	91
看護部新規採用者オリエンテーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 院内教育計画について <ul style="list-style-type: none"> ・新人看護師育成プログラム・クリニカル・ラダー・新人サポーター制度について 2. 情報管理とシステムセキュリティについて <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティに関するインシデント ・セキュリティ対策について 3. 勤務管理 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務管理について ・労務管理について ・人事管理における個人情報入力方法について ・看護師免許登録と取扱いについて 4. 感染管理 <ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策について ・針刺し防止 ・新型コロナウイルス感染症について 	4月5日 (8時間)	49
看護部新規採用者オリエンテーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護協会について <ul style="list-style-type: none"> ・看護協会の使命・活動内容・入会案内 	4月6日 (2.5時間)	49
接遇Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・患者サービスの質の向上について ・接遇の基本原則 ・挨拶、身だしなみ、言葉遣い ・マナーの基本 ・コミュニケーションについて 	4月6日 (3.5時間)	49
看護部新規採用者オリエンテーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子カルテの操作について 2. 関連部署訪問「チーム医療の一員としての役割と連携」 <ul style="list-style-type: none"> ・部署訪問 ・グループワーク 	4月7日 (8時間)	49

¥¥HDL-Z19ATA¥05_uesoumu¥共有¥02_病院¥0_九州厚生局関係¥0_業務報告書(毎年10月5日までに提出) ¥令和4年度病院業務報告書¥05.差替え 2¥最終回答¥別紙 4-2-2.docx

	3. 医療接遇マナーとコミュニケーション		
看護部新規採用者オリエンテーション	・基礎看護技術 紙おむつの特徴と使用方法	4月7日 (1.5時間)	49
新人研修基礎看護技術	1.移乗・移送 2.食事介助 3.経管栄養 4.口腔ケア 5.酸素療法 部署 OJT 研修	4月～5月	49
新人研修基礎看護技術	1.BLS:成人の心肺蘇生法(胸骨圧迫・人工呼吸)、AEDの使用法と実際の場面を想定した実技講習	5月21日 (0.5日)	49
新人研修基礎看護技術	3・気管内吸引:・気管内吸引の実際、目的、必要物品の準備、手技、留意点、	5月21日 (0.5日)	49
新人研修基礎看護技術	・エンゼルケア DVD視聴による研修 エンゼルケアの意義と実際(エンゼルメイク、更衣、家族への配慮)	5月～7月	49
新人研修基礎看護技術	・看取りの看護	11月1日 (1.5時間)	49
インスリンの基礎知識	インスリンの種類、作用、副作用、器材等の知識と情報 部署 OJT 研修 ・インスリンに対するインシデント事例と対策	5月～6月	49
深部静脈血栓症の予防(基礎編)	末梢循環動態の観察、ストッキングの正しい履かせ方	7月8日 (1時間)	52
フィジカルアセスメント(基礎編)	フィジカルアセスメントの目的、フィジカルアセスメント一般状態、基本手技(問診、触診、視診、打診、聴診)胸部、腹部に関するフィジカルアセスメントの演習とGW	7月2日 (2時間)	49
メンタルヘルス	職場の人間関係、対人困難場面に対する適切な対応方法、ワークストレスの予防と対策、コミュニケーションスキルについて	7月26日 (1時間)	60
新採用者ナラティブ発表会	自己のナラティブの発表	12月24日 (2時間)	64
部署間交流研修①②	基礎看護技術の未経験項目について、他部署での交流研修により技術を体験学習する。 ・基礎看護技術評価表Ⅰ・Ⅱの未経験項目の修得	10月～ 12月 (7時間)	

(2) クリニカル・ラダーレベルⅡ 対象

研修名	研修内容	研修実施日(時間)	受講者数(人)
フィジカルアセスメント	症例別フィジカルアセスメント演習、グループワーク	1月24日 2月18日 (各2時間)	各39
救急看護	・救命処置の実技 ・リーダーシップについて ・事例を想定した救急への対応 部署 OJT へ変更	11月～ 12月	
気管内挿管介助	・必要物品と使い方 ・救急カートの内容と使用目的 ・シミュレーターを使って気管内挿管介助の実際とフィードバック	6月18日 (2時間)	77
リーダー育成研修(基礎編)リーダーシップの基礎	・リーダーの役割、リーダーシップとは何か、 ・役割を発揮するうえで必要な事とは何か ・リーダーとリーダーシップの違い	5月28日 (1.5時間)	51
深部静脈血栓症の予防(応用編)	血栓の発生機序とハイリスクの判断基準、予防方法	7月18日 (1時間)	44
材料部実習	・医療材料の再生処理・滅菌・供給システムの実際	10月25日～ 1月31日	61

¥HDL-Z19ATA¥05_uesoumu¥共有¥02_病院¥0_九州厚生局関係¥0_業務報告書(毎年10月5日までに提出) ¥令和4年度病院業務報告書¥05.差替え 2¥最終回答¥別紙 4-2-2.docx

(3) クリニカル・リーダーレベルⅢ対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
看護管理概論	・看護管理とは ・管理者に求められる能力について	6月22日 (1時間)	37
リーダー育成研修 (実践編)①	・リーダーの役割 ・リーダーに求められる人間的資質 ・リーダーシップのタイプについて	6月15日 (1.5時間)	36
リーダー育成研修 (実践編)②	実践を通して自己のリーダーシップの振り返り 実践報告のレポート	11月30日 (1.5時間)	29
重症患者ケア① 呼吸管理	・クリティカルな状況での呼吸管理 ・体位ドレナージ、口腔ケアの意義 ・合併症予防	11月19日 (2時間)	30
重症患者ケア③ 循環管理	クリティカルな状況での循環管理	11月24日 (2時間)	35
レベルⅢ看護診断事例 検討会	事例発表予定の患者の看護診断について、エキスパートナースも含め検討する	6月25日 (1日)	24
レベルⅢ看護診断事例 発表会	受け持ち患者の看護をまとめ発表する	11月26日 (2時間)	84
		12月3日 (2時間)	61

(4) クリニカル・リーダーレベルⅣ対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
看護サービス管理	・看護サービスについて看護の評価(構造・プロセス・アウトカム)について人材育成する	11月12日 (1.5時間)	10

(5) 役割別研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
看護管理①	看護管理とは、マネジメントの基本、PDCA サイクル、管理者に求められる能力について、自己の取り組む課題について	6月8日 (1.5時間)	21
看護管理②	・問題解決技法使い、部署の問題と課題の明確化、 ・課題解決に向けての具体策の検討 ・個別にフィードバック	7月13日 (2時間)	24
看護管理③	・問題解決に向けて、PDCA サイクルを実践した中間報告 各グループ毎実施	10月 (1.5時間)	24
看護管理④	問題解決に向けて取り組んだ看護管理の実践報告	3月7日 (2時間)	24
看護師長・副師長合同研修	組織分析、次年度の目標の決定	3月5日 (1日研修)	79

(6) 全看護職員 対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
高齢患者看護	・高齢者の精神的、身体的特徴を理解する。 ・高齢者の身体機能とフレイル 高齢者の皮膚の特徴と皮膚トラブルの予防 ・高齢者の栄養と摂食嚥下	6月11日 (1日)	56

認知症高齢者の看護	・認知症の病態・診断・予防・治療について ・認知症を有する人の対応やコミュニケーション方法、中核症状、せん妄を呈する認知症高齢者のアセスメント要点と援助方法	12月7日 (1時間)	21
倫理事例検討会	・多職種による事例カンファレンス	①7月 ②11月12日 ③1月19日 (1時間)	
医療倫理	・医療倫理とは ・倫理の原則 ・看護と倫理	1月27日 (1.5時間)	66
看護研究①	・看護研究のテーマ絞り込みのステップ ・文献検索方法	6月24日 (1.5時間)	24
看護診断セミナー (初級編)	・看護過程について ・看護診断の意味・意義・活用について	6月19日 (7時間)	74
看護診断セミナー (中級編)	アセスメントから看護診断、理論背景や用語・概念の理解(自己概念・役割関係・ストレスコーピング・スピリチュアリティ、その他)	10月23日 (7時間)	68
新人教育サポーター ①	・教育概論 ・リフレクションとは ・シミュレーションとは ・新人サポーター制度について ・新人サポーターの役割	12月7日 (1.5時間)	74
新人教育サポーター ②	・新人の特性 ・効果的なOJTとは ・看護の言語化 臨床判断と看護過程	2月26日	74
退院支援	・在宅療養を支える看護師の役割 ・早期退院支援スクリーニングとアセスメント 事例検討	7月15日	41
消火器・消火栓の取 扱い	消火栓の取扱いについて	6月22日 7月6日 (1時間)	28 22
保全防災訓練 ①②避難誘導訓練	①避難誘導訓練 ②総合消防訓練	9月18日 10月7日	118
災害訓練	災害訓練 ・自衛消防モードに基づき訓練の実施	12月17日 (3時間)	

(7) 院内認定研修 (静脈注射教育プログラム)

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
静脈注射基礎コース ①②③④⑤	①安全管理 ・治療方針の理解、安全(誤認予防)に実施するための予約の原則(5Rの徹底) ②感染管理 ・清潔操作、安全機材の取り扱い、針廃棄について ③静脈注射の実施基準 ・看護師が行う静脈注射実施範囲、静脈注射の法的位置づけと看護師の責務、静脈注射の用語の説明 ④解剖生理 ・静脈注射を安全に実施するための解剖と整理 ・静脈注射の合併症とその対策 ⑤薬剤の基本的知識 ・静脈注射を安全に実施するための薬剤知識(作用、副作用、投与方法、使用量と薬剤単位)・薬剤の保管・管理 ・薬剤の種類と取り扱い(ワンショット禁止薬剤、類似名称、形態) ⑥ME機器の特徴と取り扱い ・輸液ポンプ、シリンジポンプの特徴と使い分け ・輸液ポンプ、シリンジポンプ使用方法とアラームの対処、使用後の後片付け	6月30日 (1日研修)	54

¥¥HDL-Z19ATA¥05_uesoumu¥共有¥02_病院¥0_九州厚生局関係¥0_業務報告書(毎年10月5日までに提出) ¥令和4年度病院業務報告書¥05.差替え 2¥最終回答¥別紙 4-2-2.docx

静脈注射指導コース ①②③④⑤⑥ DVD 視聴研修	①適切な静脈栄養管理・静脈栄養の輸液の種類 ・検査データの読み方・麻薬の管理	6月18日 ～ 7月15日	77
	②緊急輸血、生物学的製剤の取り扱い		
	③有害事象の予防と対策(手足症候群)		
	④循環作動薬、ショックバイタル時の輸液管理及びハイリスク薬剤について		
	⑤抹消・CVライン・PICC 穿刺部管理		
	⑥血液培養採血の方法		
	⑦CV ポートの管理(穿刺・抜針の演習)	7月16日	
管理者コース ①②③④	①看護管理とはマネジメントの基本、PDCA サイクル、管理者に求められる能力について、問題解決技法の活用方法、自己の取り組む課題について	6月8日 (1.5時間)	21
	②問題解決技法を用いて、部署の課題の明確化 問題解決に向けた具体策の検討、個別フィードバック	7月13日 (2時間)	21
	③問題解決に向けて、PDCA サイクルを実践した中間報告 グループ毎実施	10月	21
	④問題解決に向けて取り組んだ看護管理の実践報告	3月7日 (2時間)	21

(8) 皮膚・排泄ケアスキルアップ研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
スキンケア I -①	・スキンケアを実施するための基礎知識 ・スキンケアの技術演習	4月23日 (1時間)	50
スキンケア I ②	・スキンケアについて・脆弱な皮膚のスキンケア・皮膚障害のアセスメント・ スキンケアの技術演習・老人のスキントラブルとスキンケア・スキンケアを 実施するための基礎知識	6月4日 (1時間)	45
創傷・褥瘡ケア①	ポジショニングについて	6月21日 (1時間)	38
創傷・褥瘡ケア②	・褥瘡ケアと治癒過程について	7月19日 (1時間)	23
創傷・褥瘡ケア③	スキンケア・医療機器関連圧迫層について	10月18日 (1時間)	21
ストマケア①	サイトマーキングについて	11月15日 (1時間)	21
ストマケア②	ストマケアの基礎	12月20日 (1時間)	7

(9) 感染対策スキルアップ研修 (院内認定)

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
感染対策スキルアップ研修① 看護ケアと感染防止	・尿路感染、血流感染、人工呼吸器関連肺炎、手術部位感染の感染経 路と感染防止策について	7月12日 (1.5時間)	37
リーダーのための感染対 策の基本②	・感染管理に必要なベッドコントロールについて	10月11日 (1.5時間)	20

¥HDL-Z19ATA¥05_uesoumu¥共有¥02_病院¥0_九州厚生局関係¥0_業務報告書(毎年10月5日までに
提出) ¥令和4年度病院業務報告書¥05.差替え 2¥最終回答¥別紙 4-2-2.docx

指導者のための標準予防策と経路別予防策③	・標準予防策と経路別予防策について	12月13日 (1時間)	19
----------------------	-------------------	-----------------	----

(10) がん看護スキルアップ研修 (院内認定)

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
がん性疼痛とがん以外の疼痛の緩和ケアにおける看護師の役割	1.疼痛のメカニズムと疼痛治療の知識 2.疼痛緩和とマネジメントに必要な知識 3.疼痛緩和における看護師の役割	6月7日 (1時間)	25
がん化学療法に伴う作用と症状アセスメント	1 がん化学療法の副作用 2 副作用症状のマネジメントとセルフケア支援	7月5日 (1時間)	24
がん放射線療法を受ける患者の看護	1 放射線療法の特徴、目的、方法 2 放射線の防護・放射線治療の看護の要点 3 放射線治療を受ける患者の有害事象と不安ケア 4 緩和療法の目的の放射線療法看護事例の検討	10月4日 (1時間)	23
看取りの看護	1 臨死期にある患者・家族のニーズと必要なケア 2 看取り時の対応と留意点	11月1日 (1時間)	58
がんゲノム医療と看護	1.がんゲノム医療の動向 2.遺伝性悪性腫瘍と体細胞性腫瘍の特徴 3.がんゲノム医療における看護師の役割	12月6日 (1時間)	15

(11) 発表会

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
レベルⅢ事例レポート発表会	受け持ち患者の看護をまとめ発表する	11月26日 12月3日 (2時間)	84 61
院内看護研究発表会 実践報告会(示説)	看護研究発表 部署の実践報告 専門・認定看護師実践報告 委員会活動報告	2月5日～ 2月12日	205
院内看護研究発表会 (口演)	看護研究発表	2月14日 (2時間)	98

(12) 看護助手研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
看護チームの一員としての心構え	職業倫理、採用身分、急性期看護補助体制加算、個人情報保護について	4月27日 (1時間)	43
感染対策① 標準予防策 環境整備	院内感染対策の目的、標準予防策(手洗い、防護具の着脱)、環境整備の方法	5月27日 (1時間)	31
安全研修① ME機器の取り扱い	ME機器の貸し出し、返却方法、機器の清拭方法について	6月24日 (1時間)	22
接遇	接遇に関する課題の共有	7月29日 (1時間)	31
感染対策②感染性廃棄物・理念の取り扱い	ゴミ分別、感染性廃棄物、リネンの取扱いと搬送方法について、針刺し事故防止、便尿器の取り扱い	8月26日 (1時間)	21
移送介助の知識・技術	患者確認方法と連絡・相談・報告方法、移送方法と注意点、車いす・ストレッチャーの点検方法	1月22日 (1時間)	16
安全研修② BLS研修	成人の心肺蘇生、AEDの使用方法、院内緊急コール体制の理解	10月29日 (1時間)	23
材料部実習(看護助手)	医療材料の再生処理・滅菌・供給システムの実際		
食事介助の知識と技術	食事の種類、食事のセッティング、介助方法の実際、食事形態の工夫	11月26日 (1時間)	14
安全研修③ 患者確認と検査	MRI検査時の注意点、患者搬送時の注意点、使用する物品の選択	12月23日 (1時間)	21
災害対策研修	①消化器・消火栓取り扱い ②避難訓練 ③災害訓練	6月22日 7月6日 7月～8月 (1時間)	

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 大屋 祐輔	
管理担当者氏名	総務課長 仲本律夫、医事課長 仲里隆二、検査・輸血部長 前田士郎、手術部長 鈴木幹男、放射線部長 西江昭弘、医療の質・安全管理部長 鈴木幹男、感染対策室長、ME機器センター長 梅村武寛、薬剤部長 中村勝則、看護部長、眞榮城智子、診療情報管理センター長 平田哲夫	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	事項 規則第二十一条の三第二項に掲げる	病院日誌	総務課	各課・診療科・関連部署で適切に管理している。 各課・診療科・関連部署で適切に管理している。 また同要項へ診療記録の『院外への持ち出しは絶対にしないこと』と明記されている。 処方箋は、外来は1週間単位、入院は病棟単位で綴り、薬剤部で保管。 画像サーバーへの電子保存（エックス線写真）。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療情報管理センター	
		看護記録	診療情報管理センター	
		検査所見記録	診療情報管理センター	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	診療情報管理センター	
病院の管理及び運営に関する諸記録	事項 規則第二十一条の三第三項に掲げる	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各課・診療科・関連部署で適切に管理している。 各課・診療科・関連部署で適切に管理している。
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、管理課 各診療科	
		高度の医療の研修の実績	総務課、各診療科	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	掲げる事項 規則第一条の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	各課・診療科・関連部署で適切に管理している。
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理対策室	
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		安全管理対策室		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		安全管理対策室		
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理対策室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医薬品安全管理実施要項
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医療機器安全管理実施要項
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター	

各課・診療科・関連部署
で適切に管理している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医療に関する安全管理規程
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	琉球大学病院における感染対策取扱要項
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	琉球大学病院診療情報管理センターにおける診療記録管理運用要項
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	琉球大学病院診療情報管理センターにおける診療記録管理運用要項
		医療安全管理部門の設置状況	琉球大学病院における医療に関する安全管理規程
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	琉球大学病院高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する規程
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	琉球大学病院高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する規程
		監査委員会の設置状況	国立大学法人琉球大学医療安全監査規程
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	琉球大学病院における医療事故等並びに死亡事例発生時の報告取扱要項
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	安全管理対策室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	琉球大学病院医療安全相談窓口運営要項
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	琉球大学病院における医療安全管理の適正な実施の疑義に関する情報提供に関する取扱細則
		職員研修の実施状況	各診療科、各中央診療施設等
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課、安全管理対策室、薬剤部、ME機器センター		
管理者が有する権限に関する	総務課	各課・診療科・関連部署で適切に管理している。	

	状況	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 大屋 祐輔
閲覧担当者氏名	総務課長 仲本 律雄
閲覧の求めに応じる場所	管理棟2階 小会議室
閲覧の手続の概要 閲覧の求めがあった場合、閲覧対応者が個別に対応する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 本院における安全管理に関する基本的な考え方 2. 医療に係る安全管理のための組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための研修等に関する基本方針 4. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本指針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧等に関する基本指針 7. 患者等からの相談への対応等に関する基本指針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ 開催状況：年 13回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理の対策及び教育に関すること。 2. 医療事故及びインシデントの判定に関すること。 3. リスクマネジメント・マニュアルに関すること。 4. 医療事故等が発生したときにおける事実確認、分析、調査検証等及び対策に関すること。 5. 医療事故等の分析等結果を活用した改善のための方策の立案、実施及び実施状況の確認等に関すること。 6. 医療事故等が発生したときにおける患者及び家族等への対応に関すること。 7. 医事紛争が生じたときの拡大防止策に関すること。 8. 訴訟が提起されたときの対策に関すること。 9. 関係機関等への報告に関すること。 10. その他安全管理、医療事故等、医事紛争及び訴訟の重要事項に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年5回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 第1回 8部署合同医療安全・医薬品・医療機器・医療放射線研修会 第2回 チームSTEPPS研修会 第3回 安全を守るために個人、組織が行うこと 第4回 チームSTEPPS研修会 第5回 安全文化の醸成（有事と平時の安全活動） 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全確保状況報告書を毎月部署で作成し提出する。 ・ 特に3b以上の事例や警鐘事例などは、別途、改善策報告書を提出してもらっている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 院内感染対策に関する基本的な考え方 ② 感染対策委員会の設置 ③ 感染対策室および感染対策実務者会議の設置 ④ 職員研修について ⑤ 院内感染発生状況及び抗微生物薬使用状況の把握と報告 ⑥ 院内感染発生時の対応 ⑦ 院内感染対策指針の閲覧に関する対応 ⑧ 院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年11回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 感染対策マニュアルの改訂・作成に関すること ② 耐性菌発生状況および対策に関すること ③ 希な耐性菌発生時の保健所との連携や感染対策に関すること ④ アウトブレイクの報告と対策に関すること ⑤ 感染対策研修会に関すること ⑥ ワクチン接種事業 ⑦ 抗体価測定事業 ⑧ 抗菌薬使用状況 ⑨ 血液培養陽性例の発生状況に関すること ⑩ 国公立感染対策協議会からの情報報告 ⑪ 地域連携施設との相互チェック結果と改善内容に関すること ⑫ インフルエンザ発生状況に関すること ⑬ 手指衛生遵守率向上に向けての活動報告 ⑭ 針刺し・切創・粘膜曝露発生報告</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>① 開催日：2022年2月9日 研修会名：第1回感染対策・抗菌薬適正使用研修会 1. 感染経路別予防策表示の変更について 2. 今こそ手指衛生 3. 指針テスト 延べ参加人数：1620人</p> <p>② 開催日：2022年3月16日 研修会名：第2回感染対策・抗菌薬適正使用研修会 1. N95マスクを改めて学ぼう 2. 新型コロナウイルス感染症について 延べ参加人数：1513人</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① 毎週ICTミーティングを開催し、耐性菌発生の状況や現在実施している感染対策に関する情報をICTで共有している。 ② ICTメンバーで、アウトブレイクの情報と対策の状況について確認を行う。 ③ 感染管理認定看護師にて日々の耐性菌分離状況を確認し、経路別予防策について病棟と情報共有を図っている。</p>	

- ④ 抗菌薬ラウンドをICDと薬剤師で実施し、抗菌薬適正使用に向けて活動を行っている。
- ⑤ 血液培養陽性例を確認し、他診療科医師へ抗菌薬使用に関して助言を行っている。
- ⑥ ICTにて病棟ラウンド(毎週1回)や中央部門(毎月1回)などのラウンドを実施し、環境対策について確認と指導を行っている。
- ⑦ 職業感染防止対策として、針刺し切創・粘膜曝露対応を行っている。
- ⑧ 手指衛生実施状況のサーベイランスを行っている。
- ⑨ SSI、CLABS1、VAEサーベイランスを実施している。
- ⑩ 感染対策の為に器機導入について検討を図る。
- ⑪ N95マスクフィットテストを、結核患者をみる職員(呼吸器内科病棟、救急外来、救急病棟、血液浄化療法部、内視鏡室)とその他部署の希望者を対象に月に1回実施している。
- ⑫ 保健所からの耐性菌、ウイルス発生状況の確認

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 令和3年度第1回（8部署合同）医療安全職員研修会 日時：令和3年5月24日（月）16：00～17：00 ＊ビデオによる追加研修あり 講師・テーマ：石井 岳夫（薬剤部）「入院持参薬の安全な管理に向けて～薬剤部の取り組み～」 対象：全職員</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ 有・無 ）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品の採用 2) 医薬品の購入 3) 薬剤部における医薬品の管理 4) 病棟・各部門への医薬品供給 5) 外来患者への医薬品使用 6) 病棟における医薬品の管理 7) 入院患者への医薬品使用 8) 医薬品情報の収集・管理・周知 9) 手術・麻酔部門、救急部門・集中治療室、輸血・血液管理部門、血液浄化部門、臨床検査部門・画像診断部門、外来化学療法部門、歯科領域におけるの医薬品の管理と使用 10) 他施設との連携 11) 在宅患者への医薬品使用 12) 放射線医薬品 13) 院内製剤 <p>手順書に沿った 実施状況の確認：遵守状況のチェックを各部署で行い、医薬品安全管理責任者が確認。問題があれば、改善指導を行っている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ）</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 適応外使用・禁忌薬使用の運用について 適応外使用・禁忌薬を使用する場合には、医薬品安全管理専門委員会へ「使用の申請書」を提出し審議、使用する。医薬品の使用による生命への影響の大きさによりリスク分類し、審議方法・使用後報告回数を分ける。 2) 注射用カリウム製剤の単味処方の禁止 注射用カリウム製剤は、単味での処方入力を禁止とし、輸液等と同一処方（Rp.）で処方・交付することとした。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年173回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>従事者に対する医療機器安全使用のための研修実施。 人工呼吸器 血液浄化装置 人工心肺装置 PCPS IABP 除細動器 AED シリンジポンプ 輸液ポンプ及び新規導入機器の取り扱い安全研修を実施している</p> <p>別紙参照</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>医療機器安全管理専門委員会において策定した点検計画に基づいて実施</p> <p>臨床工学技士は、適宜、メンテナンス講習を受講(各機器メンテナンス認定証発行)、保守点検を行っている。ME機器管理システムは、ACEメディアステーションに更新し機器管理、大学病院内にて臨床工学室が中央管理している機器を日常及び定期点検を実施している。臨床工学室で対応できない機器に関しては、メーカー保守点検契約を結び対応（メーカー対応機種は麻酔器、人工心肺装置、放射線関連装置等）としている。別紙参照</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>厚生労働省のHPやPMDA, PMDAナビ及び各種学会からの情報収集やメーカーからの不具合情報をMEセンターで収集し、臨床工学室で共有、情報は該当機種か判断し、各部署に周知徹底している。重要事項に対しては臨床工学室長及び病院長に報告している。重要事項の必要度に応じてMEニュースを発行し、再研修や院内ラウンドし全職員に周知徹底している。勤務体系に合わせ個別対応も行っている。診療に支障が出ない範囲で、院内機器の統一化を図り取り扱いの煩雑さを軽減、ME機器の安全性を高めるように臨床工学室で取組んでいる。毎月1回医療機器安産管理専門委員会にてインシデント及びアクシデント点検修理状況、修理状況を周知し各部門が集まり対策を図っている。更に毎週月曜日に、特定機能カンファレンスにて医療安全管理室を中心として各部門が集まり対策している。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・<input type="checkbox"/>歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>1. 医療安全管理責任者は、本院の副病院長又は病院長補佐のうちから常勤の医師又は歯科医師をもって充て、病院長が指名する。</p> <p>2. 医療安全管理責任者は、病院長の指揮を受け、医療の質・安全管理部、医療の質向上委員会、医療の質向上対策室、医療安全管理委員会、安全管理対策室、医薬品の安全使用のための責任者（医薬品安全管理責任者）及び医療機器の安全使用のための責任者（医療機器安全管理責任者）、並びに診療用放射線の安全利用のための責任者（医療放射線安全管理責任者）を統括する。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> （4名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品使用の確認の収集は、主に医薬品情報室担当薬剤主任が、PMDA、厚生労働省、製薬会社等のHPやMRからの通知文書、学会等の各種ガイドライン等からまた電子カルテ内の医薬品情報検索システム（JUS・DI）からも収集・整理している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>適応外使用・禁忌使用については、調剤時及び病棟薬剤業務時に主治医に疑義照会し、その内容・結果を診療録に記録し、その情報を収集・分析し、医薬品安全管理責任者へ毎月報告している。これらの情報は、定期的に病棟・診療科へ周知し、さらに周知の確認を実施している。また、適応外使用禁忌使用の申請を医薬品安全管理専門委員会へ提出し使用について審議することとしている。</p> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部，職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p>	

<p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>：</p> <p>(1) 当院インフォームドコンセントガイドラインに基づき、診療情報管理センター長(インフォームドコンセント管理責任者)にて説明同意書の内容監査実施している。評価で要件を満たしていない場合には、評価票を依頼元へ返却し改善を促している。</p> <p>(2) 質的監査において IC 記事記載における項目を設け内容を確認し、診療記録分野専門部会、診療情報管理センター運営委員会、病院運営委員会、各診療科へ報告し、記載改善を促している。</p> <p>(3) 2019 年 8 月より IC 記事記載におけるテンプレートを作成し、運用開始している。</p> <p>当院の臨床指標項目に「全身麻酔手術 IC 時テンプレート記載率」を設定し毎月集計を行い、医療の質向上対策室分析担当者会議へ報告している。また定期的にモニタリングを行う項目に当指標を定め、目標値を設定している。電子カルテ内でもモニタリング項目一覧とその結果をグラフで表示し、職員へ周知を行っている。</p>
--

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>■琉球大学病院 診療記録監査要領 に基づき監査を実施</p> <p>(1) 量的監査：全退院患者を対象として、記載不備等があれば各診療科へリストを送付し改善を促す。</p> <p>(2) 質的監査：医師、看護師、薬剤師、診療情報管理士にて構成された 9 名の監査員が、毎月無作為に選んだ退院患者の監査を行っている。(退院数約 3%の症例数)</p> <p>結果は、診療記録分野専門部会、診療情報管理センター運営委員会、病院運営委員会、各診療科へ報告し、記載改善を促している。</p> <p>(3) 2021 年 7 月より外来及び入院初期記録テンプレートを作成し、運用開始している。</p> <p>当院の臨床指標項目に「入院初期記録テンプレート記載率」を設定し毎月集計を行い、医療の質向上対策室分析担当者会議へ報告している。また定期的にモニタリングを行う項目に当指標を定め、目標値を設定している。電子カルテ内でもモニタリング項目一覧とその結果をグラフで表示し、職員へ周知を行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（18）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（10）名</p>	

うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（１）名

うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（３）名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容

1. 安全管理対策に関わる実施状況の調査及び把握に関すること。
2. 安全管理対策に関わる職員等の教育研修の実施及び意識向上の状況確認並びに具体的な指導方に関すること。
3. リスクマネジメント・マニュアル改正に関すること。
4. 医療事故等及び死亡事例に係る発生原因の調査、分析並びに関係部署に対する指導、助言に関すること。
5. 医療事故等及び死亡事例に係る診療録・看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び必要な指導に関すること。
6. 医療事故等及び死亡事例発生時における患者及び家族に対する説明等の対応状況の確認及び指導に関すること。
7. 医療紛争の原因の調査及び分析に関すること。
8. 琉球大学病院医療安全管理委員会（以下「医療安全管理委員会」という。）の資料及び議事録の作成並びに保管、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。
9. 医療安全相談室に関すること。
10. その他、医療安全対策の推進及び連絡調整に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（２件）、及び許可件数（２件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・活動の主な内容：

高難度新規医療技術を用いた医療提供申請書の提出があった場の内容確認、及び評価委員会に対して高難度医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。適否結果の通知、定期的な診療録等の記載内容確認、従業者の遵守状況の確認等。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (1 件) 、及び許可件数 (1 件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (・ 無)
- ・ 活動の主な内容：
未承認新規医薬品等を用いた医療提供申請書の提出があった場の内容確認、及び評価委員会に対して未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。適否結果の通知、定期的な診療録等の記載内容確認、従業者の遵守状況の確認等。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 180 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 229 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 1. 院内死亡事例及び管理者が定める水準以上の事例については、毎月 GRM が内容を把握し管理者に報告している。
 2. 個々の事例については、週 1 回のカンファレンス、分析担当者会議、医療安全管理委員会で分析、検討している。
 3. 適宜マニュアルの改訂、院内巡視、当該部署へのヒアリングと M&M カンファレンスを行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：大分大学医学部附属病院）・無）
 - ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：宮崎大学医学部附属病院）・無）
 - ・技術的助言の実施状況
- ・COVID-19 感染拡大を鑑み、訪問による調査は実施せず書面審査へ変更となった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
1. 受付業務は患者サポート相談窓口（医療福祉センター）が行い、患者等からの医療安全に関する相談等を引き継ぐ。
 2. 相談等についての事実確認及び報告書の作成に関する事。
 3. 相談等内容の保護及び管理に関する事。
 4. その他。相談等に関する事。
 5. 相談等は相談室にて対応する。ただし、状況に応じて患者サポート相談窓口を利用する。
 6. 対応時間は、平日の8時30分から17時15分までとし、受付時間は、平日の8時30分～16時30分までとする。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
- 令和3年度新規採用職員オリエンテーション（R3.4.1）【158/158名受講】
 - 令和3年度中途採用者・復職者対象Web・DVD研修（R3.5以降毎月実施）【64/64名受講】
- 【第1回】令和3年5月24日
- 「医療安全推進に向けて」 8部署合同研修会
- 講師：西平 淳子先生（琉球大学病院 安全管理対策室 GRM 医師）
- 石井 岳夫先生（琉球大学病院 薬剤部 薬剤師）
- 名嘉 太郎先生（琉球大学病院 リハビリテーション部 医師）
- 宮良 透先生（琉球大学病院 施設部）

増田 昌人先生 (琉球大学病院 がんセンター 医師)
西平 公彦先生 (琉球大学病院 臨床工学室 臨床工学技士)
山内 昌敏先生 (琉球大学病院 放射線部 放射線技師)
稲福 真先生 (琉球大学病院 医事課)

【第2回】 令和4年2月17日

「チーム STEPPS」

講師：奥村 耕一郎先生 (琉球大学病院 シミュレーションセンター 医師)

【第3回】 令和4年3月7日

「JTAの安全管理システムについて」

講師：西田 保之先生 (日本トランスオーシャン航空 機長)

【第4回】 令和4年3月17日

「チーム STEPPS」

講師：奥村 耕一郎先生 (琉球大学病院 シミュレーションセンター 医師)

【第5回】 令和4年3月30日

「報告と救命～1枚のレポートが命を救う～」

講師：長尾 能雅先生 (名古屋大学医学部附属病院 医師)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

2021年度特定機能病院管理者研修(初回・継続)

受講者：管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者

<医療安全、医薬品安全管理及び医療機器安全管理のための研修>

○令和3年度新規採用職員オリエンテーション(R3.4.1)【158/158名受講】

○令和3年度中途採用者・復職者対象Web・DVD研修(R3.5以降毎月実施)【64/64名受講】

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2020年5月に日本医療機能評価機構の「一般病院3」を受審予定であったが、コロナウイルス感染症流行の影響を受け延期となり、その後、2021年3月に訪問審査を受審し、2021年8月に同機構の補充的な審査を受審した。その結果、条件付き認定という形で2022年5月31日までの期間で認定された。さらに2022年5月に確認審査を受審し、条件が解除され2025年5月29日までの期間で正式に認定された。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

2021年8月に受審した補充的な審査の結果については病院ホームページにて公表している。また、2022年5月に受審した確認審査における結果についても掲載予定である。

・評価を踏まえ講じた措置

医療の質の向上に向けた取り組みについて、CI・QIデータの収集は行われているが、データを活用するまでには至っておらず、自施設の立ち位置がわかるような仕組みづくりなど更なる活動が求められるとの指摘があった。上記指摘を受けて、以下の対策を講じた。

- ① 各QIについて他院とのベンチマークを行い目標値の設定
- ② 会議体による評価、電子カルテへの掲載など継続的なモニタリング
- ③ 医療の質のバラツキを低減し質の向上を目的としたQCサークル活動の立ち上げ
- ④ 各サークルの活動についての院内発表会、上位サークルの表彰

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 (国立大学法人琉球大学病院長選考等規程) 第4条 病院長は、次に掲げる要件を満たす者とする。 (1) 医療法(昭和23年法律第205号)第10条第2項の条件を満たす者 (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有している者 (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有している者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 大学ホームページで公表 https://www.u-ryukyu.ac.jp/aboutus/byointyo/

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有・無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
木暮 一啓	琉球大学	○	学長が指定する理事	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
大城 功	琉球大学		学長が指定する理事	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
筒井 正人	琉球大学		役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
高橋 健造	琉球大学		大学院医学研究科から選出された教員	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
鈴木 幹男	琉球大学		病院から選出された教員	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
青木 陽一	琉球大学		学長が指名する病院副病院長	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
宮里 達也	沖縄県医師会		学長が委嘱する学外有識者 沖縄県医師会の副会長として、医療、保健について、豊富な知見を有している。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
大城 玲子	沖縄県保健医療部		学長が委嘱する学外有識者 沖縄県の健康福祉に係る担当責任者として県内の医療事情に精	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

			通し、医療・保健・福祉全般に豊富な知見を有している。	
神里 みどり	沖縄県立看護大学		学長が委嘱する学外有識者沖縄県の医療系大学の学長として、医療教育に関する豊富な知見を有している。	有・ <input type="checkbox"/> 無
眞榮城 智子	琉球大学		学長が必要と認める者	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
<p>・合議体の主要な審議内容 (1) 運営の方針 (2) 中期計画 (3) 予算及び決算 (4) その他, 病院の運営に関する重要な事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>各構成員は、病院運営委員会の資料及び議事要旨を学内イントラネットで閲覧することができ、各構成員はその内容を職員へ周知することとしている。 委員会においても、各部署の長たる構成員に対し、重要事項は直接職員へ周知徹底するよう依頼している</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 (有・<input checked="" type="checkbox"/>)</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 (有・<input checked="" type="checkbox"/>)</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
大屋 祐輔	○	医師	病院長
		医師	第一内科長
益崎 裕章		医師	第二内科長
岩淵 成志		医師	第三内科長代行
高槻 光寿		医師	第一外科長
古川 浩二郎		医師	第二外科長
石内 勝吾		医師	脳神経外科長
西田 康太郎		医師	整形外科長
清水 雄介		医師	形成外科長
青木 陽一		医師	産科婦人科長
中西 浩一		医師	小児科長
高橋 健造		医師	皮膚科長
齋藤 誠一		医師	腎泌尿器外科長
鈴木 幹男		医師	耳鼻咽喉科長
古泉 英貴		医師	眼科長
近藤 毅		医師	精神科神経科長
西江 昭弘		医師	放射線科長
垣花 学		医師	麻酔科長
中村 博幸		歯科医師	歯科口腔外科長
和田 直樹		医師	病理診断科長

梅村 武寛		医師	救急科長
大屋 祐輔		医師	リハビリテーション科長
前田 士郎		医師	検査・輸血部長
鈴木 幹男		医師	手術部長
梅村 武寛		医師	地域・国際医療部長
梅村 武寛		医師	救急部長
梅村 武寛		医師	高気圧治療部長
西江 昭弘		医師	放射線部長
齋藤 誠一		医師	材料部長
垣花 学		医師	集中治療部長
古波蔵 健太郎		医師	血液浄化療法部長
平田 哲生		医師	医療情報部長
銘苅 桂子		医師	周産母子センター部長
和田 直樹		医師	病理部長
高槻 光寿		医師	光学医療診療部長
大屋 祐輔		医師	リハビリテーション部長
植田 真一郎		医師	臨床薬理学講座長
増田 昌人		医師	がんセンター長
平田 哲生		医師	医療情報管理センター長
中村 克徳		薬剤師	薬剤部長
眞榮城 智子		看護師	看護部長
加藤 善一		事務職	事務部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・無 ）
- ・ 公表の方法
大学のホームページで公表「国立大学法人琉球大学規則集」
- ・ 規程の主な内容
予算執行の権限として、国立大学法人琉球大会計規則及び予算規程、人事権については、国立大学法人琉球大学組織規則、法人文書管理規定、病院規程、病院人事委員会に対応している
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
琉球大学病院副院長及び病院長補佐に関する内規を改正し（平成30年6月）、副院長、病院長補佐の役割を以下の様に明確化した。

○副院長は、次に掲げる病院業務を分担する。
(1) 医療安全、(2) 診療、(3) 経営、(4) 教育研修、(5) 臨床研究、
(6) 看護及び患者支援、(7) その他病院長が必要と認める事項

○病院長補佐は、次に掲げる業務を分担する。
(1) 広報、(2) 研究倫理、(3) 臨床倫理、(4) 遠隔医療、
(5) その他病院長が必要と認める事項
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
1. 2022年8月 トップマネジメント研修（大屋病院長、銘苅病院長補佐）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>次に掲げる事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査に関すること。 ・ 安全管理状況及び改善状況に関すること。 ・ 監査の実施に際して、病院の業務状況について病院長に報告を求め、又は必要に応じて自ら確認する。 ・ 委員会は審議の結果に基づき、学長に是正措置を講じるよう意見を提出する。 ・ 審議の結果及び前述の意見を公表する。 <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>大学公式ホームページおよび病院公式ホームページでの公開</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
綾部 貴典	宮崎大学医学部 附属病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
望月 保博	かりゆし法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
照喜名 通	NPO 法人アンビシャス		医療を受ける立場にある者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

監査室による内部監査として、公的研究費（科研費やAMED、補助金等含む）の執行状況、法人文書や個人情報の管理状況、病院の業務委託管理状況等について、毎年度監査が実施されている。

・ 専門部署の設置の有無（ ・ 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ ・ 無 ）

国立大学法人琉球大学監事監査規則

国立大学法人琉球大学内部監査規則

・ 内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）

・ 公表の方法

大学ホームページで公表

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 監督は役員会が行う。 高度な医療安全体制を確立するため令和元年7月31日に「国立大学法人琉球大学における琉球大学医学部附属病院の業務の監督に関する申合せ」を制定した。 ・ 会議体の実施状況（年 31 回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年 30 回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・ 公表の方法 病院ホームページで公開 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法
ホームページ及び電子カルテポータルシステムでのお知らせ

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 情報発信の方法、内容等の概要・ 病院概要や病院情報誌HOTLINEを発行し情報公開。・ 病院HP、SNS (twitter, facebook) を通して地域向けのセミナーや市民講座案内、医療従事者向け研修会、病院移転関連に係る取組等の情報発信。・ 地域コミュニティラジオ (ぎのわんシティFM) にて「メディカルインフォメーション琉大病院」の放送を行っている。各診療科の医師が分かりやすく解説を加えながら県民に多い疾患や診療科の特長について幅広く情報発信を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 <p>児童虐待対応検討会、虐待が疑われる症例が発生した場合に、各部署対応者の招集と関連する診療科 (外科・脳神経外科・眼科・整形外科など) と連携し問題解決をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 一般診療科で精神症状を呈した場合はリエゾンチームが回診し主科と問題点を共有しながら診療している。・ 重症度の高い精神疾患を有する妊婦が入院した場合は、精神科、周産期母子センター、小児科でコメディカルも交えカンファレンスを行い問題点の共有、場合によっては児童相談所への通告や要保護児童対策協議会の開催を依頼するなどの対応をとっている。・ 重症大動脈弁狭窄症や重症僧帽弁閉鎖不全症の患者に対して、循環器内科医、心臓血管外科医	

、麻酔科医、臨床工学技士、看護師、放射線技師など、様々な職種の専門家からなるハートチームを形成し、連携して対応している。

- ・心臓血管外科と循環器内科とでハートチームを結成し、カテーテル治療の適応を検討し手術を行っている。

- ・周術期管理が複雑ならびに困難な症例においては、麻酔科外来を受診しその後合同カンファレンスが必要となった場合に、担当外科（主治医）、麻酔科、集中治療部ならびに関連診療科に連絡し日程調整の後に、合同カンファレンスを行うという体制となっている。

- ・併存症や合併症の管理を複数の診療科で対応

- ・放射線科カンファレンス：放射線科医と婦人科癌の放射線治療の方針検討、治療の状況確認を行う。

- ・病理カンファレンス：病理医と、婦人科癌などの産婦人科疾患の病理検討を行う。

- ・周産期カンファレンス：新生児科医と、妊産婦、胎児、新生児の方針検討、治療の状況確認を行う。

- ・口腔悪性腫瘍診療における耳鼻咽喉科、形成外科、歯科口腔外科の連携構築

- ・口唇裂口蓋裂診療における耳鼻咽喉科、形成外科、歯科口腔外科を中心とした多職種での取り組み

- ・嚥下障害診療における多職種での取り組み